

年 報

2021 年度（令和 3 年度）

No.24

長野県立歴史館

目 次

概 要

I 沿 革	1
1 開館までの歩み	
2 開館後の歩み	
II 機能・組織・運営	8
1 機 能	
2 組織と分掌	
3 運 営	
4 関係法規	
III 施 設	16
1 平面図	
2 諸 室	

事 業

I 令和3年度の主な事業実績	18
II 展 示	19
1 常設展示	
2 企画展示等	
III 教育普及公開	36
1 学校・団体見学 実施記録	
2 企画展関連講演会等	
3 講 座	
4 考古学セミナー	
5 近世史セミナー	
6 講習会	
7 各種講習会・イベント	
8 展示解説	
9 学校との連携	
10 博物館実習	
11 インターンシップ	
12 職場体験学習	
13 サークル育成活動	
14 ボランティア活動	
15 博物館関係職員等研修会	
16 職員派遣（出前講座）	

IV	共催事業等	56
V	出版	57
1	長野県立歴史館たより	
2	研究紀要	
3	その他	
VI	閲覧・情報提供	59
1	図書等資料	
2	情報提供	
VII	調査研究	60
1	調査研究の体制と内容	
2	学芸研究会	
3	時代別研究会	
VIII	資料の収集・整理・保存	62
1	資料収集の方針	
2	展示資料	
3	考古資料	
4	文献史料	
IX	広報	69
1	広告・案内	
2	記事・報道	
資料		
I	資料利用	76
II	閲覧利用・情報利用	76
III	利用者	76
IV	収蔵史資料数	80
日誌		82

一 概 要

I 沿 革

1 開館までの歩み

- 1988年（昭和63） 4月……「第二次長野県総合5か年計画」で、「埋蔵文化財、重要な史資料の展示、保存、研究等機能を備えた施設を新設」する方針を決定
6月……「文化財に関する施設建設基本構想懇話会」（県内外の学識経験者12名）を設置
1989年（平成元） 7月……懇話会が報告書を提出
1990年（平成2） 10月……「県立歴史館（仮称）建設委員会」を設置
11月……建設基本構想骨子決定
1991年（平成3） 4月……開館準備専任職員配置
5月……「県立歴史館（仮称）専門委員会」を設置
1992年（平成4） 9月24日…起工式
1994年（平成6） 5月……建設工事完成
8月……展示工事完成
11月 3日…開館

2 開館後の歩み

1994（平成6）年度

- 11月 開館記念企画展「赤い土器のクニ」（共催）
資料寄贈者などへの感謝状を贈呈

1995（平成7）年度

やさしい信濃の歴史学習会、考古資料講座、古文書講座、考古資料保存処理講習会、文献史料保存活用講習会を年間計画に基づいて開催。常設展示のローテーション展示替え実施。また市町村発掘担当者研修会を実施（共催）

- 7月 夏季企画展「絵図にみる信濃」
8月 特別展示「終戦日8月15日の長野県民」
10月 秋季企画展「信濃における戦国争乱の世界」

1996（平成8）年度

新たに歴史館セミナーを年2回開催。7月に博物館実習を初めて実施

- 7月 夏季企画展「縄文人の一生」
10月 秋季企画展「木簡が語る古代の信濃」

1997年 1月 館蔵品展

1997（平成9）年度

9月に館燻蒸を初めて実施

- 7月 夏季企画展「殖産興業と万国博覧会」
8月 長野県立歴史館ホームページ開設
10月 秋季企画展「長野県にみる世界の文化」

1998年1月 館蔵品展

- 3月 皇太子・皇太子妃両殿下行啓

1998（平成10）年度

古文書講座を入門講座と解説講座とに分けて実施。また新たに地域セミナーを始め、6月に飯田・下伊那セミナーを実施。

- 6月 屋代木簡特別展示
7月 夏季企画展「古代シナノの武器と馬具」
10月 秋季企画展「諏訪信仰の祭りと文化」。御柱をエントランスに展示開始。

1999年2月 長野県考古資料速報展「新発見・信州話題の考古資料」

1999（平成11）年度

やさしい信濃の歴史学習会を「やさしい信濃の歴史講座」、考古資料講座を「考古学講座」に改称。歴史館セミナーを年3回実施。

- 4月 館蔵品展

- 6月 佐久セミナー
- 7月 開館五周年記念特別展「信濃名宝展」
- 10月 秋季企画展「蘭学万華鏡」
- 11月 開館5周年記念式典挙行
- 2000年1月 考古資料特別公開「躍動する縄文土器」

2000（平成12）年度

- 西暦2000年に合わせて、20世紀の長野県の歴史をふり返る特別展を企画
- 7月 木曾セミナー
夏季企画展「千曲川歴史紀行」
- 10月 秋季企画展「歴史の宝庫 秋葉みち」
- 12月 長野県人権啓発センター開設（講堂棟）
- 2001年1月 長野県の20世紀展「信州に生きた20世紀の女たち」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2000」
ホームページ全面更新 独自ドメイン（www.npmh.net）取得

2001（平成13）年度

- 5月 館蔵品展「屏風の世界」
- 7月 夏季企画展「阿久遺跡と縄文人の世界」
諏訪セミナー
- 10月 秋季企画展「文人墨客がつどう」

2002年1月 特別公開「雛人形と雛道具」

- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2001」

2002（平成14）年度

- 5月 テーマ展「北村縄文人の時代－仮面土偶をつくった人びと－」
- 7月 夏季企画展「世界と地域を見つめた長野県教育－信山育材－」
北安曇セミナー
- 10月 秋季企画展「開設四百年 中山道－信濃二十六宿と間宿－」
- 2003年1月 特別公開「雛人形と雛道具－田中平八コレクションと北信濃の雛人形－」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2002」

2003（平成15）年度

夏休み中、7月19日～8月24日の間、体験講座「石のアクセサリーに挑戦」を毎日実施した。講座開設に際して、当館として初めてボランティアを受け入れた。この後、「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」の折り鶴、「雛人形と雛道具展」のお雛様作り、および赤外線カメラの解説にボランティアを受け入れた。また一階エントランスに簡易展示コーナーを設置した。入館者数は4000人ほど前年度を上回り、3年連続の増となった。

- 5月 テーマ展「おらが善光寺さん－秘仏の寺ものがたり－」
- 7月 夏季企画展「SOSふるさとの文化財をすくえ－伝えたい古人の心と技－」
上伊那セミナー
- 9月 秋季企画展「もみじ 夕焼け 里の秋－唱歌・童謡のふるさと信州－」
同時開催「ヒロシマ・ナガサキ原爆展－風化させてはならない歴史－」
- 2004年1月 特別公開「重要文化財 神子柴遺跡の石器群－石の時代の槍と斧－」
同時公開「雛人形と雛道具－子どもの祝い－」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2003」（共催事業）

2004（平成16）年度

開館10周年の節目の年に当たり、総入館者数100万人を突破した。企画展では開館以来初めて年間を通じたテーマ（「人と物の交流」）を設定し、秋季展では入場者数1万人を越えるなど健闘した。夏季展では善光寺道ウォーキング、秋季企画展ではドングリゴマづくり、冬季展では折雛づくりなど参加型活動を模索した年でもあった。民話データベースの公開、小・中生向けの調べ学習対応の図書を配備した。

- 5月 春季展「神がみへの願い人々の折り－古代のまつり－」
- 7月 開館10周年記念式典
夏季展「善光寺道－街道を行き来した人・物・文化－」
松本セミナー「松本地域の歴史と風土」
- 10月 秋季展「中世信濃武士意外伝－義仲から幸村まで－」
- 2005年1月 新春特別公開「新春屏風絵図展」
冬季展「天下の糸平ゆかりの雛人形－横浜を目指した信州の生糸商人たち－」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2004」（共催事業）

2005 (平成17) 年度

運営管理について、4月1日より、長野県文化振興事業団から長野県教育委員会に直営化された。

企画展では、親しみやすさやわかりやすさを追求し、博物館ミュージカルに挑戦したり、県下に伝わる人形芝居の公演を行ったりした。また、時宜に適した企画として六角木幢展を実施したほか、森將軍塚まつりなどをとおして地域社会との連携を積極的に進めた。更には、学校教育や社会教育との連携も拡大し、総合的な学習の時間や公民館講座などの様々な学習活動へ職員を派遣するなどした。

- 5月 春季特別展「里帰りした赤羽刀—GHQ接收刀剣の輝き—」
- 7月 夏季企画展「地下4mの縄文伝説—屋代遺跡群 愛と出会い4千年—」
飯山公開講座「善光寺地震における飯山の被害状況」ほか
- 10月 秋季企画展「信州舞台物語—団十郎も須磨子もやってきた—」
- 11月 特別公開「六角木幢—極楽浄土への道しるべ—」(共催事業)
- 2006年1月 特別公開「雛人形と雛道具—身だしなみとよそおい—」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2006」(共催事業)

2006 (平成18) 年度

県教委の直営となった2年目は、年間通じて入館者を確保するために、企画展示室をフル活用して年5回の企画展を実施し、特に指定文化財と館蔵品公開を目的にした「信州の歴史遺産I」を初めて開催した。学校や社会教育との連携を深めて出前授業や講演を行い、県外学校の団体向けの旅行業者はじめ、県内に宿泊施設のある千代田区・大田区・渋谷区・板橋区・練馬区・江戸川区・西東京市・八王子市・武蔵野市・三鷹市・府中市の教育委員会に対して広報活動をおこなった。こうした努力の積み重ねによって、開館2年目(平成7年度)の13万人に次ぐ112,230人を記録することができた。

- 5月 春季展「古瓦からみた信濃の古代—神津猛・米山—政資料を中心に—」
- 7月 夏季企画展「幕末の信州—時代を駆けた草莽たち—」
- 9月 秋季企画展「戦時下の子どもたち—信州の十五年戦争—」
- 11月 「信州の歴史遺産I—新指定長野県宝と歴史館のお宝—」
- 2007年1月 冬季展「信濃の人形—いのりと願い—」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2007」(共催事業)

2007 (平成19) 年度

展示スペースを工夫拡大し、全国的規模の展示である文化庁巡回展「発掘された日本列島2007—新発見考古資料速報展—」を初めて開催した。3月の埋蔵文化財センター速報展では歴史的発見である中野市柳沢遺跡出土の銅鐸・銅戈を展示する事が出来た。企画展示の充実や県内外の学校との連携、地域への出前講座などを更に進め、開館二年目に次ぐ117,236人の入館者を記録する事が出来た。

- 5月 春季展「埋もれていた信州遺産の発見—長野県埋蔵文化財センター25年の歩みから—」
- 7月 夏季展「絵地図の魅力—わたしの城下町—」
- 9月 文化庁巡回展「発掘された日本列島2007—新発見考古資料速報展—」
- 10月 秋季企画展「武田・上杉・信濃武士」
- 2008年1月 冬季展「信濃の人形展」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2008」(共催事業)

2008 (平成20) 年度

春季の「うつわは語る」展、夏季の「大庄屋って何?」展、秋季の「よみがえる氷河時代の狩人」展、冬季の「信州の歴史遺産II」展の展覧会を実施するとともに、学校見学への対応、一般来館者に対する体験学習(勾玉づくり)の実施、出前講座の実施など、展示以外の諸行事にも全力をあげた年であった。特に冬期間の自主事業「信州ふれあい歴史講座」は盛況で、歴史館に対する期待をひしひしと感ずることができた。

- 5月 春季展「うつわは語る —縄文から近世まで—」
- 7月 夏季企画展「大庄屋って何? —安曇郡・清水家文書の350年—」
- 9月 秋季企画展「よみがえる氷河時代の狩人」
- 12月 冬季展「信州の歴史遺産II —長野県宝と歴史館のお宝—」
- 2009年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2009」(共催事業)

2009 (平成21) 年度

開館15周年と信濃史料刊行40周年の年に当たり、信濃毎日新聞社等との共催でアーカイブをテーマとした夏季展を実施した。南信地域の県民に当館講座の受講機会を提供することを目的に、飯田市美術博物館を会場に2回の公開講座を実施した。

- 4月 春季企画展「善光寺信仰 —流転と遍歴の勸化—」
- 8月 夏季展「信州 知の遺産の系譜 —歴史を記録した先人たち—」
- 9月 秋季企画展「山を越え川に沿う —信州弥生文化の確立—」

- 12月 冬季展「信州の歴史遺産Ⅲ — 諏訪地域の‘いのり’と‘まつり’ —」
2010年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2010」（共催事業）

2010(平成22) 年度

今年度からの5ヵ年計画として、当館の中期目標を策定した。ひめゆり平和祈念資料館・朝日新聞社と共催で春季企画展を開催した。外部団体との本格的な共催は当館初の企画である。当館が収蔵している信濃町日向林B遺跡遺物が重要文化財指定を受けた。

- 5月 春季企画展「ひめゆり 平和への折り〔沖縄戦から65年〕」
7月 夏季展「あの世への想い — 日本人はどのように埋葬されてきたか —」
9月 秋季企画展「東の牛伏寺 西の若澤寺 — 古代に創建された松本平の二つの寺院 —」
12月 冬季展「信州の歴史遺産Ⅳ — 文字のちから —」
2011年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2011」（共催事業）

2011(平成23) 年度

利用者の目線に立ち「元気に・明るく・楽しく」をモットーに利用者サービスに徹することを掲げた。館蔵品を中心とした企画展・季節展に取り組んだ。外部団体との連携にも意欲的に取り組み、八十二文化財団との共催事業「大人の遠足」を実施するとともに、信州大学との連携に関する覚書を締結した。

- 5月 春季展「武士の家宝—かたりつがれた御家の由緒—」
7月 夏季企画展「激動を生きぬく — 信濃武士市河氏の400年 —」
9月 秋季企画展「観光地の描き方 — 浮世絵版画から観光パンフレットまで —」
12月 冬季展「郷土のお宝 — 『重文・県宝』を見よう —」
2012年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2012」（共催事業）

2012(平成24) 年度

利用者目線に立ち、引き続き利用者サービスに徹することに力を入れた。企画展示では、年度前半は昭和戦前期に焦点を当てた展示・講座を実施した。後半では長野県の縄文土器の優品をはじめ一堂に会する展示を行い、縄文土器の世界を広げた。中期目標に基づく博物館評価のあり方について検討し、本格実施に備えた。外部団体との連携では、新たに長野県カルチャーセンターとの連携企画を行い、「信濃史料」に関する東京大学史料編纂所との共同研究も行った。

- 5月 春季企画展「長野県の満洲移民—三つの大日向をたどる—」
7月 夏季展「戦争と宣伝 阿智村ポスターが語る」
9月 秋季企画展「縄文土器展」：前期展「ハケ岳山麓の名作」 後期展「千曲川流域、土器一万年の旅」
2013年1月 冬季展「愛娘の調度品—姫君様の婚礼道具から雛人形まで—」
3月 埋蔵文化財センター30周年企画展「長野県の遺跡発掘2013」（共催事業）

2013(平成25) 年度

利用者の立場に立って、心が通って楽しく、発見のある内容とサービスに力点をおいた。夏季企画展では、「信州の野球史」を取り上げた。スポーツに関する初めての企画ということもあり、全国からの観覧者があった。秋季企画展の「刃が語る信濃」については、一般にはなじみのない刀剣の展示であったが、関心のある方は何回も熱心に来場された。冬季展「山国の水害」では、戊の満水と善光寺地震を取り上げたところ、災害に関する関心度が高く好評だった。

- 4月 天皇・皇后両陛下下行幸啓
6月 夏季展「信州の野球史—大正から昭和初期にかけて全国屈指の強さを誇った中等学校野球—」
9月 秋季展「刃が語る信濃」
11月 冬季展「山国の水害—戊の満水と善光寺地震—」
2014年2月 館蔵品展「戦前の観光信州」
3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2014」（共催事業）

2014(平成26) 年度

利用者の立場に立って、学術的である上、県民の関心をそそる内容とサービスに力点をおいた。館蔵品展では「歴史に煌めく日本の美」ということで歴史館の優品を展示した。夏季展では、信州山の日制定に伴い「山とともに生きる」と題して、県内の山関係の展示を行った。秋季企画展の「信濃武士の決断」については、戦国時代の信濃武士の生き様について展示をした。冬季展「縄文土器展」縄文中期の展示で評判になった。春季企画展では、「山と海の回廊をゆく」と題して、北陸新幹線延伸に伴うタイムリーな企画で関心度が高く好評だった。

- 6月 館蔵品 展「歴史に煌めく日本の美」
7月 夏季展「山とともに生きる〜「信州山の日」制定を記念して〜」
9月 秋季展「信濃武士の決断〜信長・秀吉・家康の時代〜」
11月 冬季展「縄文土器展〜デコボコかざりのはじまり〜」
2015年2月 春季展「山と海の廻廊をゆく〜信濃と北陸をつなぐ道〜」

2015(平成27) 年度

利用者目線に立つとともに、学術的には未開拓分野の研究を深め、その成果を展示した。また、市町村や民間の団体の協力を得た成果を発表する展示をおこなった。「長野県の遺跡発掘2015」は、長野県埋蔵文化財センター、市町村教育委員会の協力を得て当館が主催し長野県の最新の発掘成果を展示する初めての試みであった。戦後70年企画「長野県民の1945－疎開・動員体験と上原良司－」は戦後70年を経、戦争体験の風化、体験の継承の難しさが指摘されていることに鑑み、1945年当時の長野県民の戦争体験を長野空襲、動員、疎開、上原良司などを切り口に取り上げた。戦争体験者から体験を聞く証言会や、長野県内の市町村等が編集した戦争体験証言集を収集した。アメリカ軍資料、上原良司関係資料など新資料の掘り起こしをおこなった。タイムリーな企画として好評であった。秋季企画展「樹木と人の交渉史」は当館が継続して取り組んでいる木製品保存処理作業の成果を、「樹木と人の関わり」の観点で展示した。旧石器時代から近世までを生業・信仰などに係わる資料で展示した。館全体を展示スペースと位置づける新しい試みをおこなった。冬季展「地図の明治維新－残された明治初期の町村地図－」は、当館が収蔵する絵図地図約2700点の中から皇国地誌作成にあたって付図として作成されたと考えられる明治初期の絵図地図についての研究成果の展示であった。平成26年度よりおこなっている長野県測量設計業協会との共同研究「長野県絵図地図研究会」の成果をベースとした館蔵品展であったが、県下各地域の絵図地図を展示したことで全県から見学者が訪れ好評であった。

5月 「長野県の遺跡発掘2015」

7月 戦後70年企画展「長野県民の1945－疎開・動員体験と上原良司－」

10月 秋季企画展「樹木と人の交渉史」

12月 冬季展「地図の明治維新－残された明治初期の町村地図－」

2016年3月 「長野県の遺跡発掘2016」

2016(平成28) 年度

笹本正治館長を迎え、「県民のための歴史館」を目標に、多方面にわたって積極的に広報活動をおこなった。6月には真田氏を取り上げた館主催の連続講座「歴史館ふるさと講座in千曲」(5回)を実施、延べ600人の聴講者があった。8月には戦争と平和を考える連続講座「歴史館から考える戦争と平和」(4回)を開催、同様多数の聴講者があった。平成29年1月には長野県ケーブルテレビジョンとの連携協定に調印、情報発信力の強化を図った。

平成28年巡回展「長野県の遺跡発掘2016」は従来の伊那・安曇野2会場に加え、佐久会場(佐久市近代美術館)での開催を実施した。

企画展示では秋季企画展で木曽地域の歴史を取り上げた。同時期に木曽が日本遺産登録を受けたことで、タイムリーな企画となった。木曽馬や木曽各地の民俗芸能を歴史館に招いたほか、常設展示の各時代にも木曽関連展示コーナーを設けるなど、積極的に木曽文化の発信を図った。

冬季展「信濃の城と城下町－発掘調査が謎を解く－」は、県内市町村教育委員会との共同研究の成果を発表したものである。

出前講座は121回、9300人ほどが聴講した。昨年の年74回、4300人に比べほぼ倍増であった。

「やさしい信濃の歴史講座」の出前は従来の上田・松本に加え、箕輪で実施した。

平成31年度の「開館25年」に合わせて課題の洗い出しが行われ、常設展示のなかに小学生向けの近現代コーナーを設置する方針が決定した。次年度検討を行うこととなった。また、本年度は長野県にとっては「信州学」元年であり、高校生向けの教材も作成された。当館としても歴史を基礎とするオリジナルな信州学テキストの刊行を計画、次年度に編集・刊行を行うこととした。

ブックレットは「水」とテーマとした。

「開館25年」記念展示として、国宝土偶を一堂に展示する企画が立案され、準備に入った。

老朽化した施設の修繕として、屋根防水改修、講堂の空調改修を行った。

3月 「長野県の遺跡発掘2016」

7月 夏季企画展「夢をのせた信州の鉄道－失われた鉄道の軌跡－」

9月 秋季企画展「－文化の十字路－木曽の宝」

12月 冬季展「信濃の城と城下町－発掘調査が謎を解く－」

2017年3月 「長野県の遺跡発掘2017」

2017(平成29) 年度

平成28年度同様「県民のための歴史館」を目標に、多方面にわたって積極的に広報活動をおこなった。6月から7月には信州の災害史を取り上げた館主催の連続講座「自然と向かい合いくらしを築く」(5回)を実施、延べ900人近い聴講者があった。講座の様子は長野県ケーブルテレビジョンで配信された。

長野県・長野県教育委員会・(一社)長野県環境保全協会等で実行委員会を構成する「信州環境フェア2017」(7/29・30 於ビックハット)に参加し「戊の満水」の展示を行った。

平成29年巡回展「長野県の遺跡発掘2017」は昨年に続き伊那（伊那文化会館）・安曇野（豊科郷土資料館）・佐久（浅間縄文ミュージアム）で実施した。

企画展示では、夏季企画展「長野県誕生！－公文書・古文書から読みとく－」で長野県の明治維新の歴史を取り上げた。当館が所蔵する豊富な行政文書を核にすえた展示であったが、幕末の混乱期から長野県が成立する明治初期を詳細に辿る企画であったが、期間中に図録が完売するなど、高い評価を受けた。オープニングセレモニーには阿部守一長野県知事が出席した。

秋季企画展「進化する縄文土器～流れるもようと区画もよう～」は、平成26年度冬季展「縄文土器展～デコボコかざりのはじまり～」に続くもので、縄文時代中期中葉のなかごろ（約5,300～5,100年前）における縄文土器の飛躍的な進化を取り上げた。図録は館内のみでなく、信毎書籍出版センターから刊行された。

冬季展「田中芳男－「虫捕御用」の明治維新」は、飯田出身で「日本における博物館の父」と呼ばれる田中芳男の生涯と業績を取り上げた。昨年度秋季企画展での木曽地域との連携同様、この展示では飯田市および飯田市美術博物館との連携に努めた。オープニングセレモニーには太田寛長野県副知事、牧野光朗飯田市長、上岡美保東京農業大学「食と農」の博物館副館長が出席した。

この展示は歴史館としては初めて特定の人物を取り上げたものであったが、多くの共感を得ることができた。

出前講座は123回、8600人ほどが聴講した。昨年とほぼ同数であった。

「やさしい信濃の歴史講座」の出前は従来の上田・松本、箕輪に加え諏訪で実施した。

館運営に企業等の賛助を得る「歴史館パートナーの日」を初めて実施した。南信に拠点をおくKOA株式会社の協賛を受け12月16日（土）を「KOAの日」と命名、入館無料とした。約500人が来館した。バックヤード探検、新購入史料（「きそのぐわんしょ」）の公開、プラ板作りなどのイベントを実施した。

文献史料課では8月に新規事業として「ティーンズ古文書講座」を実施した。4日（2.5時間×4日）、中学生から大学生まで19人の参加があった。若年層向けの古文書講座は全国でもまれで、マスコミにも取り上げられた。次年度も継続することとなった。

歴史館版信州学テキスト（『日常生活からひもとく信州』）を信濃毎日新聞社より刊行した。全4巻を予定し、今回は「信州を学ぶ◎足元を深める編」をテーマに、衣食住を特集した。

親子ふれあいコーナーのコンセプトについて検討を行った。

ブックレットは「道」をテーマとした。

3月 「長野県の遺跡発掘2017」

7月 夏季企画展「長野県誕生！－公文書・古文書から読みとく－」

9月 秋季企画展「進化する縄文土器～流れるもようと区画もよう～」

12月 冬季展「田中芳男－「虫捕御用」の明治維新」

2018年3月 「長野県の遺跡発掘2018」

2018(平成30) 年度

「県民により必要とされ、愛される歴史館」を目指して積極的に活動をおこなった。

他館との連携強化にむけて、山梨県立博物館と他県博物館と初めてとなる連携協定を10月26日に締結した。

「長野県の遺跡発掘2018」は歴史館の他、県内3箇所で開催した。企画展については、それぞれ独自の視点から展示を行い好評であった。また、ミニ展示として、5月に『「県歌50年」作詞家「浅井淵の書を見る」』、6月に『信州の「野球史 夏」』を行い、タイムリーな企画となった。

講座については、信州学講座として歴史館で9回、出前講座として上田・箕輪・諏訪・松本・飯田の5箇所で開催した。

館運営に企業の賛助を得る「歴史館パートナーの日」を昨年のKOA株式会社に加え、長野都市ガスの協賛を受け、入館無料として実施した。

歴史館版信州学テキスト第2巻『広い世界とつながる信州』を信濃毎日新聞社より刊行した。

外壁工事のため7月30日～9月14日の期間が休館となった。また、講堂の天井改修工事のため11月4日～3月31日の期間が講堂使用不可となった。

3月 「長野県の遺跡発掘2018」

6月 夏季企画展「君は河童を見たか！－水辺の出会い－」

9月 秋季企画展「最古の信州ブランド黒曜石－先史社会の石材獲得と流通－」

12月 冬季展「自然を見つめた田淵行男」

2019年3月 「長野県の考古学－時代を映す“匠”の技－」

2019(令和元) 年度

開館25周年を迎え、記念事業を実施。特別企画として、「長野県立歴史館の名品」、「戦国 小笠原三代」、「土偶展」を開催し、何れも好評であり来館者より高い評価を受けた。特に10月26日（土）から11月10日（日）まで実施した特別企画土偶展 前期「国宝土偶」は、現在日本において指定を受けている国宝土偶5箇を展示した。入館者数は15,041名を数え、非常に盛況であった。

講座は、信州学講座として歴史館で5回(2回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)、出前講座として安曇野・上田・箕輪・諏訪の4箇所で開催し、いずれも好評であった。

館運営に対して企業等の賛助を得る「歴史館パートナーの日」はKOA株式会社、千曲市から協賛を受けて実施した。特に千曲市からは特別企画土偶展 前期「国宝土偶」開催に向けて多大な支援を頂いた。「国宝土偶」展の開催期間中に「千曲市の日」を設け、千曲市民の入館を無料としたところ、711名の千曲市民の来館があり地域に歴史館を知っていただく絶好の機会となった。

他館との連携強化として、11月22日山梨県立考古博物館、同23日群馬県立歴史博物館と連携協定を締結した。

歴史館版信州学テキスト第3巻『新たな時代にはばたく信州』を信濃毎日新聞社より刊行した。

4月 「長野県の考古学-時代を映す“匠”の技-」

7月 収蔵品展「長野県立歴史館の名品」

9月 秋季企画展「戦国 小笠原三代」

10月 特別企画土偶展 前期「国宝土偶」後期「中部高地の土偶」

2020年3月 春季展「長野県の考古学-いのちをつなぐ技と交流-」

2020(令和2) 年度

笹本正治館長は特別館長に役職を改め、引き続き館運営の指導にあたった。

昨年度から続く新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、4月15日(水)から5月6日(水)、さらに延長して5月31日(日)までの期間を休館とした。また、学校見学、館主催の講座・イベント等については7月31日(金)まで中止とし、再開後も来館者の安全・安心を第一とした館運営に努めた。

企画展についてはコロナ禍での影響を受けつつも展示に工夫をして開催し、いずれも好評であった。特に秋季企画展「稲作とクニの誕生-信州と北部九州-」では、国宝の金印を県内初披露する予定だったが、来館者の密集を避けるために断念、また北部九州の資料についても感染拡大地域からの集荷を取りやめてパネル展示に切り替えるなど大幅な変更を余儀なくされたが、県内出土品の充実した展示により、高い評価を得た。

講座は、信州学講座として歴史館で3回(3回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)、出前講座として飯田・木曽・箕輪の3箇所で開催し、いずれも好評であった。

6月には地元である千曲市との間で、昨年の特別企画土偶展における連携協力をきっかけとして、県内市町村では初となる連携協定を締結した。また、他館とのさらなる連携強化のため、10月27日新潟県立歴史博物館とも連携協定を締結した。

3月 春季展「長野県の考古学-いのちをつなぐ技と交流-」

7月 夏季企画展「地酒王国 信州」

9月 秋季企画展「稲作とクニの誕生-信州と北部九州-」

1月 冬季展「洋画家・書家・コレクター 中村不折 一伊那谷から世界へ」

2021年3月 所蔵品展「至宝の名品 -学芸員のイチ押し 絵画工芸編-」

2021(令和3) 年度

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、9月3日(金)から9月12日(日)まで臨時休館せざるを得ない状況となった。学校見学や館主催の講座などは、昨年度からの人数制限や事前申込の対応を引き続き行い、来館者の安全・安心を第一とした館運営に努めた。

企画展については、コロナ禍での影響を受けつつも、資料選定や展示に工夫をして開催することができた。夏季企画展「青少年義勇軍が見た満州」は、県内すべての教育会の丹念な調査をもとにした新視点からの展示などを行い、日を追うにつれ来館者が増加するなど高い関心を呼んだ。秋季企画展「全盛期の縄文土器」では、県外から借用した国宝・重要文化財の展示もあったが、それに劣らぬ県内縄文土器の魅力を発信することに重きを置いた。冬季企画展「郷愁の画家 丸山晩霞」も、本県ゆかりの人物に焦点をあてる目的で平成29年度より行っている企画展の一環であり、いずれも県立博物館として、本県の歴史を紐解き県民の文化に寄与することを考えての企画である。すべての企画展で展示図録が期間終了を待たずに完売するなど非常に好評であった。

講座は、信州学講座として歴史館で6回、出前講座として上田・安曇野(飯山は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)の2箇所で開催し、いずれも好評であった。

11月には、県内自治体では昨年の千曲市に続いて2例目となる連携協定を、須坂市と締結した。これは当館の基本目標である「県内博物館・文書館等の中核、歴史情報の拠点としての役割充実」活動の一環であり、具体的活動として11月21日を「須坂市民の日」に設定し、須坂市民観覧料無料、当館所蔵の須坂市関連資料の特別公開などを実施した。多くの須坂市民が来館した。今後は史資料の貸借や人的交流などを行う予定で、これを更なる連携強化を進める上でのモデルケースとしていきたい。

3月 所蔵品展「至宝の名品 -学芸員のイチ押し 絵画工芸編-」

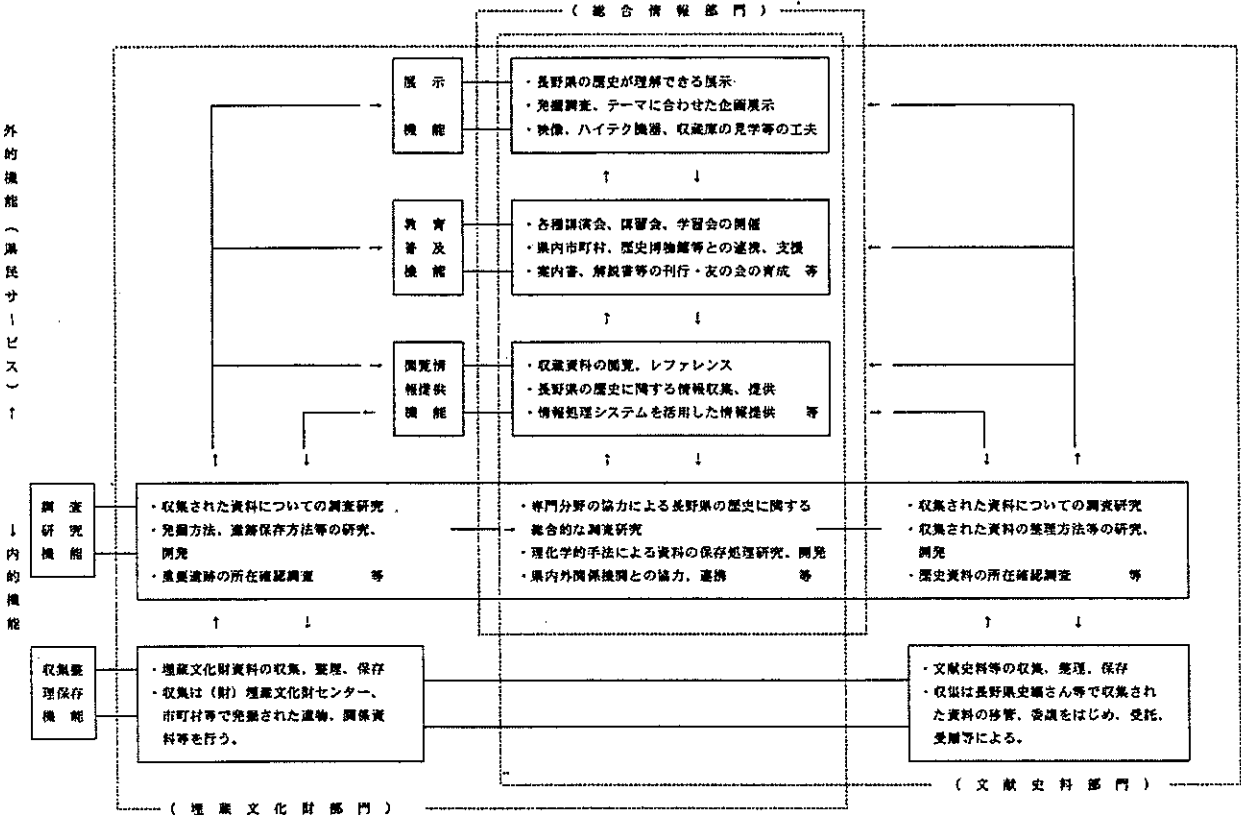
7月 夏季企画展「青少年義勇軍が見た満州 -創られた大陸の夢」

9月 秋季企画展「全盛期の縄文土器-圧倒する褶曲文-」

1月 冬季企画展「没後80年 郷愁の画家 丸山晩霞 -師友とその時代」

Ⅱ 機能・組織・運営

1 機能



県立歴史館機能構成図（平成元年7月「文化財に関する施設建設基本構想懇談会報告書」による）

建設基本構想骨子(平成2年11月建設委員会決定)

1 施設の性格

- (1) 発掘調査により出土した埋蔵文化財資料及び歴史的に貴重な行政文書、古文書等の史資料について、収集、整理、保存、調査研究、閲覧、情報提供、教育普及及び展示を行う歴史博物館的施設とする。
- (2) 文化財への親しみと理解が深められるよう、県民の学習ニーズに対応し、歴史学習活動を支援する。

2 設置場所

更埴市大字屋代字清水(森將軍塚古墳付近)

3 館の機能

主要な機能は、「展示」、「教育普及」、「閲覧、情報提供」、「調査研究」及び「収集、整理、保存」で構成する。

(1) 展示

- ア 埋蔵文化財、文献史料等による長野県の歴史が理解できる常設展示を行う。
- イ 発掘調査、テーマ等に合わせた企画展示、特別展示、巡回展示を行う。
- ウ 映像、ハイテク機器等を活用した楽しく興味を持てる展示を行い、館内の整理作業工程、収蔵庫等の見学コースを設定する。

(2) 教育普及

- ア 各種講演会、講習会、学習会を開催する。
- イ 県内の市町村、歴史博物館、歴史民俗資料館等と連携し活動を支援する。

(3) 閲覧、情報提供

- ア 収蔵資料を閲覧に供する。
- イ 長野県に関する情報を収集し、情報処理システムを活用した提供を行う。

(4) 調査研究

- ア 収集された資料について、調査研究を行い、その成果を展示、教育普及、閲覧及び情報提供に反映させる。
- イ 専門分野の協力による長野県の歴史に関する調査研究を行う。
- ウ 発掘調査、保存処理、整理方法等に関する研究、開発を行う。
- エ 重要遺跡、歴史資料の所在調査を行う。

(5) 収集、整理、保存

- ア 長野県に対する埋蔵文化財資料及び行政文書、古文書等の文献史資料を収集し、整理分類して収蔵する。
- イ 資料の収集は、県内外で発掘された遺物、関係資料や県史編さん等で収集された資料の移管、委譲をはじめ、受託、受贈、購入、複製収集等による。

4 館の組織

主要な組織は、「総合情報部門」、「埋蔵文化財部門」、「文献史料部門」及び「管理部門」で構成する。

(1) 総合情報部門

- ア 展示の企画、開催、教育普及活動等
- イ 長野県の歴史に関する調査研究及び情報の収集、整理、提供

(2) 埋蔵文化財部門

- ア 埋蔵文化財資料の収集、整理、保存
- イ 遺跡、遺物の保存、活用等のための調査研究

(3) 文献史料部門

- ア 行政文書、古文書などの収集、整理、保存
- イ 古文書等の所在確認、収集資料の保存、活用等のための調査研究

(4) 管理部門

- ア 庶務、会計
- イ 施設、設備の管理

5 敷地の概要

取得面積 約19,500㎡

(用途別内訳)

建物面積 6,500㎡程度

駐車場 4,500㎡程度

外構面積 6,500㎡程度

屋外展示 2,000㎡程度

6 施設の概要

建築面積 6,500㎡程度

延べ床面積 10,000㎡程度

(部門別内訳)

総合情報部門 3,100㎡程度

埋蔵文化財部門 2,750㎡程度

文献史料部門 1,850㎡程度

管理部門 2,300㎡程度

7 建設計画

平成4年 着工

平成5年 完成

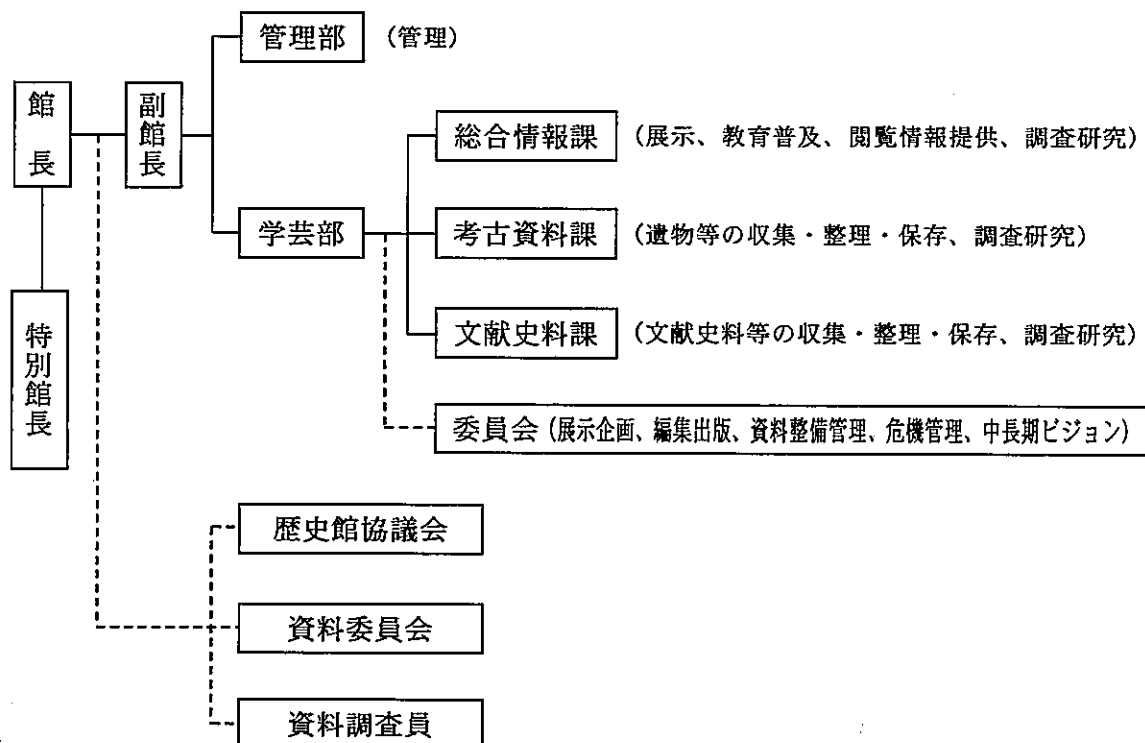
平成6年(春) 開館

8 施設建設に伴う留意点

更埴市における歴史公園構想の中核的施設となるため、土地利用・施設外観・展示・植栽計画において整合を図る。

2 組織と分掌

○組織図（令和3年4月1日現在）



○分掌表

部 課		分 掌 事 項
管 理 部		1 庶務及び会計に関すること
		2 組織及び人事に関すること
		3 営繕に関すること
		4 警備、清掃及び防火に関すること
		5 施設、設備の保守管理に関すること
学 芸 部	総 合 情 報 課	1 歴史資料等の収集、整理、保存及び調査研究並びに展示、閲覧に関すること
		2 教育普及（講演会、講習会、研修会等）の企画及び実施並びに調整に関すること
		3 図書資料の受入れ、整理及び閲覧に関すること
		4 情報提供の企画及び実施に関すること
		5 各種刊行物の編集及び出版並びに企画調整に関すること
	考 古 資 料 課	1 考古資料の収集、整理、保存及び調査研究並びに展示、閲覧に関すること
		2 埋蔵文化財の研究及び科学分析・保存処理に関すること
		3 教育普及（講習会、研修会等）の企画及び実施に関すること
		4 情報提供の実施に関すること
		5 考古資料に関する目録、報告書等の管理に関すること
	文 献 史 料 課	1 文献史料の収集、整理、保存及び調査研究並びに展示、閲覧に関すること
		2 教育普及（講習会、研修会等）の企画及び実施に関すること
		3 情報提供の実施に関すること
		4 文献史料に関する目録、報告書等の管理に関すること

3 運営

(1) 運営方針

長野県の歴史・文化の拠点として、考古資料、文献史料、その他の歴史資料及び長野県の公文書を収集・保存・調査研究し、展示・閲覧等により県民に公開するとともに県民が楽しく利用できる諸事業を行い、もって県民の教養と文化振興の向上に寄与する。

(2) 事業概要

①重点事業

- ア 他地域博物館・県内市町村等と連携した事業の推進
- イ 「子どもの歴史館」(仮称)及び大規模リニューアルに向けての検討の推進
- ウ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底した安全・安心な館運営の推進

②史資料の収集・整理・保存

- ア 信州にまつわる史資料の収集・整理・保存
- イ 長野県埋蔵文化財センター等が発掘した考古資料の科学分析・保存処理・整理・保存
- ウ 長野県の公文書の整理・保存

③調査研究

- ア 長野県の歴史に関する調査研究
- イ 共同研究 (高遠藩研究会、信州黒曜石文化研究会)

④史資料の公開・教育普及

- ア 展示の充実
 - (7) 常設展示(計画的な展示替え)
 - (i) 企画展示
 - a 所蔵品展「至宝の名品 絵画工芸編」 b 夏季企画展「青少年義勇軍の見た満州」
 - c 秋季企画展「全盛期の縄文土器」 d 冬季展「郷愁の画家・丸山挽歌」
- イ 学校見学の充実(解説・施設見学)
- ウ 歴史関係講座の企画実施
 - 信州学講座(歴史館6回、出前3回)、考古学講座(4回)、特設考古学講座(3回)、遺跡探訪会(1回)
 - 古文書講座(25回)、ティーンズ古文書講座(4回)、古文書フォローアップ講座(2回)
- エ 他団体との連携
 - (7) 県外博物館、県内市町村等との連携協定の締結、連携事業の推進
 - (i) 埋蔵文化財センターと連携した速報展の実施
 - (g) 信州大学との連携による研究・展示等の充実
 - (i) 連携講座(信濃史学会 長野県考古学会、信州近世史セミナー 等)の開催
 - (a) 長野県ケーブルテレビジョンとの連携による主要講座の県内への発信
 - (h) 「歴史館パートナーの日」(企業協賛)の開催
- オ 研修会の実施(考古資料保存処理講習会、文献史料保存活用講習会 等)
- カ 刊行物の発行(研究紀要、年報、史資料目録、歴史館たより 等)
- キ 体験学習及びイベントの開催(開館記念美、歴史館でこどもの日、歴史館で夏休み 等)
- ク 歴史情報のマスコミへの発信(信毎コラム「しなの歴史再見」等)

⑤閲覧・情報提供

- ア 収蔵資料の閲覧、レファレンス
- イ 歴史館ホームページを活用した情報提供
- ウ 史資料の貸し出し

⑥学校教育等への支援

- ア 出前授業(小・中・高校等)
- イ おでかけ歴史館
- ウ 職場体験学習
- エ 博物館実習
- オ 学芸員講座
- カ 教職員研修

⑦生涯学習の支援 公民館等の講座へ講師の派遣

⑧ボランティアの募集・育成

(3) 職員名簿（令和4年3月31日現在）

館長 渡島茂夫 —— 特別館長 笹本正治			
副館長 中野亮一			
管理部長 渡島茂夫（兼）		学芸部長 中野亮一（兼）	
管理部 担当係長 土屋勝史 主 事 田村真人 主 事 高橋幸人 職 員 手島良子 職 員 大日方恭子 職 員 丸山洋子 職 員 関麻里子	総合情報課 課 長 小野和英 専門幹・学芸員 林 誠 専門主事 水澤教子 専門主事 宮坂 到 専門主事 河野智枝 専門主事 内城正登 主 任 柴田洋孝 主 事 杉木有紗 主 事 飯島公子 職 員 六川成美 職 員 小松亜紀	考古資料課 課 長 町田勝則 専門主事 鶴田典昭 専門主事 近藤尚義 専門主事 白沢勝彦 職 員 小林伸子 職 員 半田和廣 職 員 徳竹正哉	文献史料課 課 長 村石正行 専門主事 入沢昌基 専門主事 大森昭智 職 員 宮下啓一 職 員 北島祥至 職 員 土屋英夫 職 員 水野聖也 職 員 荒木孝幸

（注）「職員」は「会計年度任用職員」

(4) 長野県立歴史館協議会委員（五十音順）

氏 名	役 職
植田平	公募
浮貝貴子	公募
久留島浩	国立歴史民俗博物館特任教授
倉石あつ子	安曇野市豊科郷土博物館職員
佐藤真耶	特定非営利活動法人エリシアネット更埴理事
中澤英治	千曲市森將軍塚古墳館長
中村孝子	更級小学校教諭
矢島宏雄	長野県考古学会副会長
三井有奈	坂城町教育委員

(5) 長野県立歴史館資料調査員

氏 名	担 当 範 囲
小須田基弘	南佐久郡・佐久市
牧野和人	北佐久郡・小諸市
倉澤正幸	小県郡・上田市・東御市
高見俊樹	諏訪郡・岡谷市・諏訪市・茅野市
唐木孝雄	上伊那郡・伊那市・駒ヶ根市
伊坪達郎	下伊那郡・飯田市
遠山高志	木曽郡
小松芳郎 （令和4年2月21日逝去）	東筑摩郡・南安曇郡・塩尻市・松本市
伊藤信一	東筑摩郡・南安曇郡・塩尻市・松本市
小林茂喜	北安曇郡・大町市
飯島千秋	埴科郡・千曲市
天野義孝	上高井郡・須坂市
寺島正友	下高井郡・中野市
西沢安彦	上水内郡・長野市
小柳義男	上水内郡・長野市
望月静雄	下水内郡・飯山市

(6) 長野県立歴史館資料委員会委員

（五十音順）

氏 名	役 職	分 野
浅倉有子	上越教育大学教授	中世・（近世）
石川日出志	明治大学教授	考古
井上 聡	東大史料編纂所准教授	中世
織田順行	飯田市美術博物館学芸員	美術工芸
倉石あつ子	安曇野市豊科郷土博物館職員	民俗
竹下多美	長野市立博物館学芸員	美術工芸
原田和彦	長野市立博物館学芸員	古代・中世

4 関係法規

長野県立歴史館条例 (平成6年長野県条例第24号)

(趣旨)

第1条 この条例は、博物館法(昭和26年法律第285号)及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)並びに地方自治法(昭和22年法律第67号)の規定に基づき、歴史館の設置及びその管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 考古資料、歴史的価値を有する文書、その他歴史資料等を収集し、保存して、広く県民の利用に供し、その教養及び文化の振興に寄与するため、長野県立歴史館(以下「歴史館」という。)を千曲市に設置する。

(職員)

第3条 歴史館に、博物館法第4条第1項及び第3項に規定する職員のほか、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(協議会)

第4条 歴史館に、博物館法第20条の規定による歴史館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから長野県教育委員会が任命する。

3 協議会の委員の定数は10名以内とし、その任期は2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(使用の許可)

第5条 歴史館を使用しようとする者は、長野県教育委員会の許可を受けなければならない。

(使用料の納付)

第6条 歴史館の展示資料を観覧する者は、使用料を納付しなければならない。

(使用料の額)

第7条 前条の使用料の額は、観覧1回につき1,000円の範囲内でその都度知事が定める額とする。

(使用料の減免)

第8条 知事は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、特に必要があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(1) 児童、生徒及びこれらの引率者が、学校の教育課程に基づく教育活動として観覧するとき。

(2) 前号に定めるもののほか、特別の理由があるとき。

(管理等の委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、歴史館の管理及びこの条例の施行に関し必要な事項は、長野県教育委員会が定める。

附 則

この条例は、平成6年11月3日から施行する。

附 則 (平成15年7月24日条例第47号)

この条例は、平成15年9月1日から施行する。

附 則 (平成17年3月28日条例第37号)

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (平成24年3月22日条例第40号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

長野県立歴史館管理規則 (平成6年教育委員会規則第5号)

(趣旨)

第1条 この規則は、長野県立歴史館条例(平成6年長野県条例第24号。以下「条例」という。)第9条の規定により、長野県立歴史館(以下「歴史館」という。)の管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 歴史館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。

ただし、長野県教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を定めることができる。

(1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、火曜日)

(2) 休日の翌日

(3) 12月28日から翌年1月3日まで

(開館時間)

第3条 歴史館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育委員会は、必要があると認めるときは、これを変更することができる。

(歴史館協議会)

第4条 条例第4条の規定による歴史館協議会は、歴史館の長が招集する。

2 歴史館協議会を分けて定例会及び臨時会とし、定例会は毎年1回、臨時会は必要に応じて招集する。

3 歴史館協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

(使用の許可等)

第5条 条例第5条の規定により許可を受けようとする者は、歴史館に保存されている資料を閲覧する場合にあっては長野県立歴史館閲覧申込書(様式第1号)を教育委員会に提出し、展示資料を観覧する場合にあってはその旨を教育委員会に申し出なければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による許可をしたときは、閲覧許可書又は観覧券(様式第2号)を交付するものとする。

(閲覧の制限)

第6条 教育委員会は、歴史館に保存されている資料のうち、次の各号に掲げるものの閲覧を制限することができる。

(1) 法令の定めるところにより公開ができないもの

(2) 個人に関する資料で、他人に知れたくないと思われられるもの

(3) 法人その他の団体に関する資料で、閲覧に供することにより当該法人その他の団体に不利益を与えるおそれがあると認められるもの

(4) 資料の傷み等のため保存上支障のあるもの

(5) 資料の整理が完了していないもの

(6) 寄贈者又は寄託者と利用の制限について特約があるもの

(7) 前各号に定めるもののほか、公益上の理由等により閲覧に供することが不適当と認められるもの

(遵守事項)

第7条 歴史館の利用者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 歴史館の施設、資料等を損傷し、汚損し、又は紛失しないこと。
- (2) 歴史館内において他人の迷惑になるような行動をしないこと。
- (3) 所定の場所以外で飲食し、又は喫煙しないこと。
- (4) 歴史館内に爆発物、可燃物、銃砲刀剣類等の危険物を持ち込まないこと。
- (5) 前各号に定めるもののほか、歴史館の秩序の維持について教育委員会が定める事項

(入館の制限等)

第8条 教育委員会は、めいていしている者その他歴史館の管理上著しく支障があると認められる者の入館を禁止し、又は退館を命ずることができる。

(使用許可の取消し等)

第9条 教育委員会は、歴史館の利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、使用許可の取消し、使用の停止又は使用条件の変更をすることができる。

- (1) 第7条の規定に違反したとき。
- (2) 使用の許可に付した条件に違反したとき。

(損害の賠償)

第10条 歴史館の利用者は、歴史館の施設、資料等を損傷し、汚損し、又は紛失したときは、遅滞なく教育委員会に届け出て、その指示に従い、原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(補則)

第11条 この規則に定めるもののほか、歴史館の管理等について必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この規則は、平成6年11月3日から施行する。

附 則 (平成17年3月28日教育委員会規則第5号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (平成24年3月22日教育委員会規則第5号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

長野県立歴史館協議会運営細則

(趣旨)

第1条 この細則は、長野県立歴史館条例(平成6年条例第24号)第4条及び長野県立歴史館管理規則(平成6年教育委員会規則第5号)第4条で規定するもののほか、長野県立歴史館協議会(以下「協議会」という。)の運営に必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

第2条 協議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選とする。

3 会長は会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。

(会議)

第3条 協議会の会議は、会長がその議長となる。

2 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第4条 協議会の庶務は、長野県立歴史館において処理する。

(委任)

第5条 この細則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この細則は、平成24年10月1日から施行する。

長野県立歴史館資料委員会設置要綱

(設置)

第1条 長野県立歴史館（以下「歴史館」という。）が収集する歴史資料（購入資料または寄贈・寄託を受けた資料をいう。以下同じ。）及び館蔵資料の活用等について意見を聴取するため、歴史館資料委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(協議事項)

第2条 委員会は、収集する歴史資料の選定、評価及び館蔵資料の活用方策等に関する事項について協議する。

(委員)

第3条 委員会の委員（以下「委員」という。）の定数は、7名以内とする。

- 2 委員は、学識経験者のうちから、歴史館長（以下「館長」という。）が委嘱する。
- 3 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。補欠のため就任した委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 館長は、収集しようとする歴史資料について、委員以外の学識経験者から意見を聴取する必要があると判断した場合は、学識経験者のうちから、臨時的に委員を委嘱することができる。ただし、委嘱期間は、委嘱した日から当該歴史資料について協議する委員会開催日までとする。

(会長及び副会長)

- 第4条 委員会に会長及び副会長を置く。
- 2 会長及び副会長は、委員の互選とする。
 - 3 会長は会務を総理し、委員会を代表する。

(会議)

- 第5条 委員会の会議は、館長が招集する。
- 2 会議の議長は、会長が務める。会長に事故があるときは副会長が代行する。
 - 3 館長は、緊急を要する事項について、書面等での回答をもって会議に代えることができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、歴史館において処理する。

附 則

この要綱は、平成7年7月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年11月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成31年4月1日から施行する。

長野県立歴史館資料調査員設置要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、長野県立歴史館（以下「歴史館」という。）の資料収集に当たり、県内における資料の所在、分布等の調査を行うため、資料調査員（以下「調査員」という。）の設置について必要な事項を定めるものとする。

(委嘱)

第2条 調査員は、歴史館長（以下「館長」という。）が委嘱する。

2 調査員には、調査員証（様式第1号）を交付する。

3 調査員証は第6条に規定する調査以外に用いてはならない。

(任期)

第3条 調査員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠者の任期は前任者の残任期間とする。

(員数及び調査区域)

第4条 調査員は、16名以内とし、調査区域とその員数は別表のとおりとする。

(調査対象)

第5条 調査対象は、原始から現代に至る歴史的価値ある史資料とする。

(調査方法及び報告)

第6条 調査員は、必要に応じて資料所蔵者を訪問して、資料の有無、保存状況、所蔵者の変更その他館長が指示した事項について調査を行い、その調査結果を館長に報告するものとする。

(守秘義務等)

第7条 調査員は、調査に際しては人権を尊重し、プライバシーの保護に配慮するものとし、職務上知り得た秘密を洩らしはならない。

(会議)

第8条 調査員の情報交換、調査事項の指示のため、館長は必要に応じて調査員会議を開催するものとする。

附 則

この要綱は、平成7年10月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成18年5月26日から施行する。

Ⅲ 施設

敷地面積 19,593 m²
 建築面積 6,702 m² (延床面積 10,457 m²)
 鉄筋コンクリート造、地上2階

管理部門

事務室、会議室、エントランスホール 等

総合情報部門

常設展示室 (1,278 m²)、企画展示室 (292 m²)、講堂 (238 席)、第一研修室 (実習室) (186 m²)、第二研修室 (148 m²)、閲覧室 (159 m²)、展示準備室、図書室、情報処理室、展示スペース (小展示室) 等

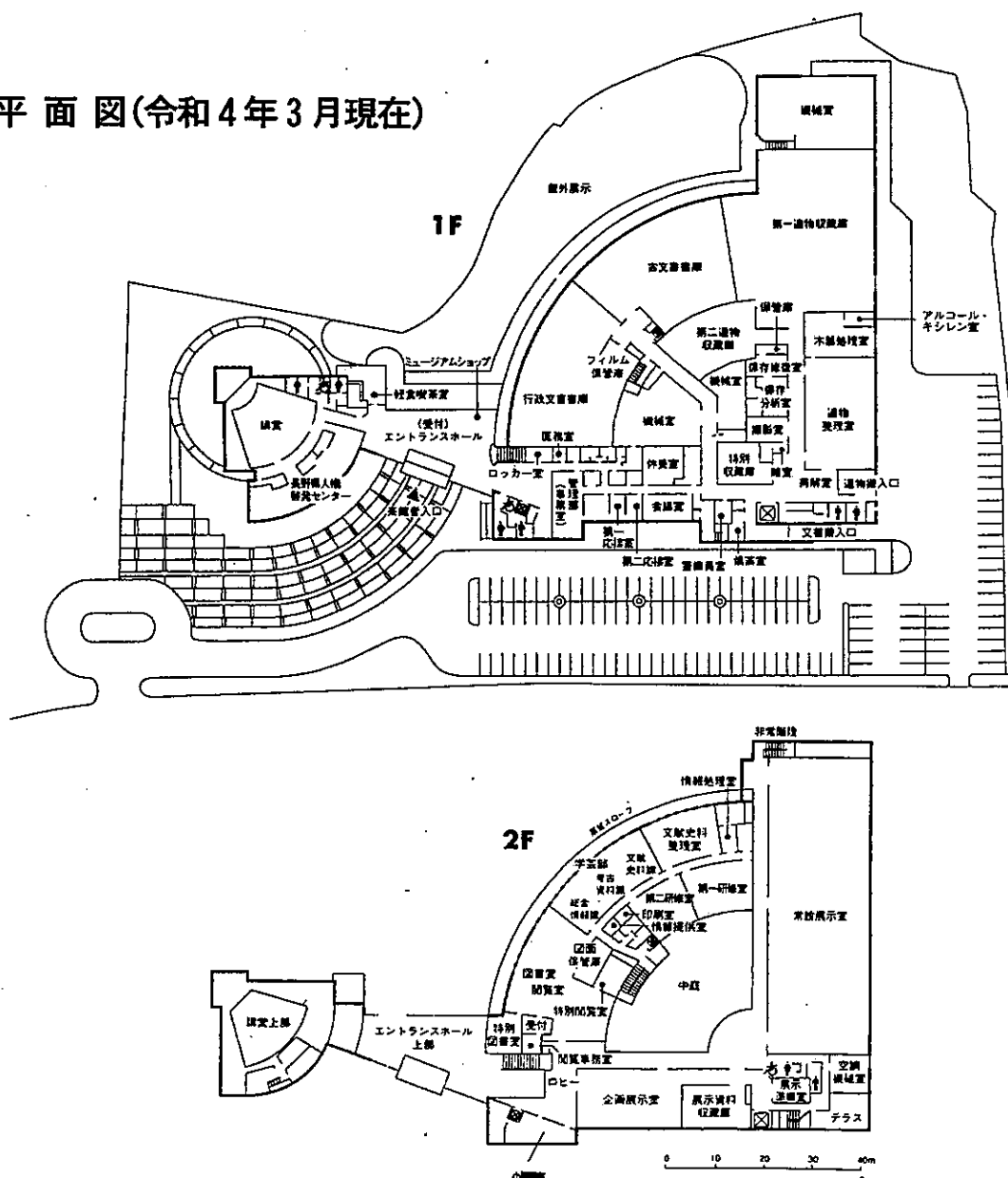
考古資料部門

遺物整理室 (348 m²)、第一遺物収蔵庫 (982 m²)、第二遺物収蔵庫 (215 m²)、木器処理室、保存分析室、保存修復室 等

文献史料部門

文献史料整理室 (145 m²)、行政文書書庫 (592 m²)、古文書書庫 (583 m²)、薰蒸室、フィルム保管庫 等

1 平面図(令和4年3月現在)



2 諸 室

部門	室 名	面積 (㎡)	用 途	備 考
学 芸 部 門	常設展示室	1,278	長野県の歴史についての展示	2 階
	企画展示室	292	企画展、特別展、巡回展、速報展など短期間の展示	
	展示資料収蔵庫	131	考古・文献史料以外の展示資料及び企画展示用資料の収蔵	
	展示準備室	42	展示用機材・備品の保管、展示準備作業スペース	
	閲覧室	159	行政文書・図書等の収蔵資料の閲覧	
	特別閲覧室	42	古文書、絵図等特殊資料の閲覧	
	閲覧事務室	16	閲覧に関する事務、各種問合せ・相談の対応	
	図書室	232	図書資料等保管	
	特別図書室	53	特別図書・貴重図書の保管	
	情報処理室	33	歴史情報の処理、提供	
	小展示室	73	企画展、特別展、巡回展、速報展など短期間の展示	
	第一研修室	186	少人数の各種研修、講習	
	第二研修室	148	少人数の各種研修、講習	
	図面保管室	41	発掘調査関係図面保管	
	文献史料整理室	145	文献史料の分類整理、台帳・目録作成	
	学芸部室	148	学芸部職員の執務	
	講堂	225	多人数の各種講演、講座、映写による歴史学習	1 階
	撮影・現像室	55	資史料撮影、現像	
	遺物整理室	348	遺物の水洗い・注記・接合・復元	
	保存分析室	45	出土遺物類の各種保存処理・分析	
	木器処理室	97	出土木器の保存処理	
	休養室	37	整理作業員等の休憩、昼食	
	保存修復室	39	遺物の修復	
	X線分析室	13	遺物の分析	
	蛍光X線分析室	12	遺物の分析	
	アルコールキシレン室	19	遺物の保存処理	
	第一遺物収蔵庫	982	出土土器・石器類の収蔵	
	第二遺物収蔵庫	215	出土木器の収蔵	
	特別収蔵庫	71	重要な資史料の収蔵	
	行政文書書庫	592	行政文書・行政資料の保管	
	古文書書庫	583	寄贈、寄託等の古文書の保管	
	フィルム保管庫	42	マイクロフィルム、映画フィルム等の保管	
	燻蒸室	19	搬入資料の燻蒸	
小 計		6,413		
管 理 部 門	事務室	130	管理部門職員の執務	1 階
	会議室	59	諸会議用	
	エントランスホール	431		
	その他諸室等	3,236	第一応接室、第二応接室、医務室、機械室、軽食喫茶室、廊下 等	
	小 計	3,856		
長野県人権啓発センター		188		1 階
合 計		10,457		

—事業—

I 令和3年度の主な事業実績

事業名		実施時期	利用者数	備考
自主事業	常設展	年間(204日)	25,831	
	所蔵品展「至宝の名品 -学芸員のイチオシ 絵画工芸編-	4月1日～6月13日	5,590	
	夏季企画展「青少年義勇軍が見た満州-創られた大陸の夢」	7月10日～8月22日	4,858	
	秋季企画展「全盛期の縄文土器-圧倒する褶曲文-	9月18日～11月23日	8,562	
	冬季企画展「郷愁の画家 丸山晚霞 一師友とその時代」	1月15日～2月27日	2,371	
	所蔵品展「至宝の名品 -学芸員のイチオシ 考古資料編-	3月19日～(3月31日)	781	
	企画展関連講演会等 9回実施(中止2回、延期1回)	7月～2月	403	
	県立歴史館の信州学講座 6回実施(中止3回、延期1回)	5月～3月	144	
	県立歴史館の信州学出前講座in上田・安曇野(飯山中止)	9月～11月	27	
	考古学講座 7回実施(中止1回)・遺跡探訪会(中止)	6月～1月	206	
	古文書講座 23回実施(中止4回)	5月～10月	629	
	出前講座 38回実施(中止4回、延期1回)	4月～3月	1,472	
	お出かけ歴史館 小学校1校・公民館等3館実施(中止1回)	5月～1月	58	
	各種講習会・イベント 9回実施(中止1回)	5月～2月	881	
	その他 史資料等の閲覧	4月～3月	2,419	
	考古学セミナー	6月	中止	長野県考古学会
	近世史セミナー	12月	30	信濃史学会
	長野県史料保存活用連絡協議会講習会 3回実施	6・10・1月	85	県史料協
	古文書愛好会 読む会 8回実施 演習 8回実施 総会講演会・探訪会 (中止16回)	6～2月	385	古文書愛好会
共催事業等	教員免許状更新講習 2回実施(中止1回)	7・8月	39	信州大学
	信州大学学芸員資格取得講座(博物館史料論)	2月	11	信州大学
	博物館関係職員等研修会	2月	中止	県博協
	長野県埋蔵文化財センター速報展	4・3月	1,875	県埋蔵文化財センター
	長野県総合教育センター研修	7月	9	県総合教育センター
	地域展(14市町村、展示・講座、中止1回)	4月～2月	24,395	県内市町村
	計		81,061	

Ⅱ 展 示

1 常設展示

共通テーマ

「信濃の風土と人びとの暮らし」

(1) 常設展示のねらい

長野県は中央高地に位置し、古くから東日本と西日本、太平洋側と日本海側を結ぶ結節点として、さまざまな文化の交流の場となり、独自の風土と文化をはぐくんできた。そうした風土と文化がつくられてきた歴史的背景と変遷を明らかにし、その成果を考古資料と文献史料などを活用した展示を通じて示し、信濃の歴史に触れ、歴史学習を深められる場を提供する。

① 常設展示を構成する柱

・課題とテーマをもった展示

東アジアや日本列島の歴史のなかにおける信濃の位置と歴史的変遷の大筋を明らかにするとともに、人びとの生活と風土の諸相を具体的に示す。

・時代性を浮きぼりにする展示

時代ごとの人びとの生活を追体験できるような、臨場感あふれるものとする。

・学問のジャンルをこえた学際的展示

信濃の地方史の特徴といわれる学

際的、総合的な歴史研究の成果を生かして、わかりやすく楽しく考えられるものとする。

② 常設展示の方法

- ・常設展示は、歴史館に収蔵される考古資料や文献史料を活用しながら、ローテーション展示など多様な手段を用いた展示とする。

③ 常設展示の内容

・過去を追体験できるメイン展示

原始、古代・中世、近世、近現代の各時代に当時の様子を再現した実物大の環境復原模型を置き、その時代を追体験できるようにする。

・テーマに沿って学習できる周辺展示

各時代の特徴ある史資料を、テーマに沿って展示し、より深い学習ができるようにする。

・マルチメディアによる詳しい解説

展示の理解を助けるために、映像と音声と文字情報で詳しい解説をする。本年度は新型コロナウイルス感染症対応として利用を停止した。

- ・各時代の植生を再現し、復原された遺構を展示する屋外展示「縄文の森」「万葉の野」「中世の林」を配置する。

(2) 構成

木曾ヒノキが語る信濃の歴史

中テーマ	展示期間	主な展示資料
赤沢自然休養林と年輪 (実物大環境復原)	令和3年4月～令和4年3月	ヒノキ立林、植生
	令和3年4月～令和4年3月	木曾ヒノキ年輪、信濃の歴史年表

原始 信濃の風土がはぐくんだ原始の生活

中テーマ ナウマンゾウと黒曜石

大陸と陸続きだった氷河時代に日本列島にやって来たナウマンゾウは、その後渡ってきた先土器時代(旧石器時代)の人びとと遭遇した。信濃最初の人びとは、現在の北海道なみの寒さのなかで、黒曜石などでつくった道具を使って狩猟生活をおこなっていた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
最古の狩人	令和3年4月～令和4年3月	ナウマンゾウ模型(実物大環境復原)、ナウマンゾウ第1臼歯模型 他
最初に住んだ人びと	令和3年4月～令和4年3月	竹佐中原遺跡・日向林B遺跡・大久保南遺跡石器 他
発達した狩りの道具	令和3年4月～令和4年3月	神子柴遺跡、矢出川遺跡石器 他

中テーマ 中央高地の縄文文化

1万6,000年前、食料の採集・狩猟を基礎に、土器を使う縄文文化がはじまった。約5,500～4,500年前の縄文中期、信州は列島最大規模の人口密集地となった。展示前半は草創期から早期、後半は前期・中期、そして後期の順に生活道具の土器・石器や地域間交流を示す黒曜石やヒスイ大珠などを展示した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
弓矢と土器の出現	令和3年4月～令和4年3月	隆起線文土器、草創期～早期の尖底土器、栃原岩陰遺跡骨角製装身具(複製) 他
定住のはじまり	令和3年4月～令和4年3月	阿久遺跡土器・石器・装身具 他
華やかな土器文化と生業	令和3年4月～令和4年3月	上木戸遺跡の土器・垂飾品、郷土遺跡の土器・土偶、屋代遺跡群の動物・魚骨、土器・石器他
寒冷化する環境の中で	令和3年4月～令和4年3月	国宝土偶「仮面の女神」(複製)、

		北村遺跡土器・石器 他
縄文のムラ（環境復原）	令和3年4月～令和4年3月	竪穴住居、高床建物、縄文の秋の植栽・動物 他

中テーマ 稲をつくった弥生人

3,000年前、大陸から新しい文化と縄文文化の伝統の上に、九州北部では水田稲作をする弥生文化が生まれた。500年後、長野県の地域にも、稲作のくらしがはじまった。令和元年度の「土偶展」から引き続き土偶形容器や人面付き土器などの展示を継続した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
弥生時代のムラ	令和3年4月～令和4年3月	松原遺跡土器、篠ノ井遺跡群土器・石器、森平遺跡石器、柴宮遺跡銅鐸（複製）他
土偶の変容	令和3年4月～令和4年3月	力石条里遺跡土偶形容器・人形土器、篠ノ井遺跡群人面付土器他

中テーマ 古墳に葬られた人びと

4世紀ごろ、農業が生み出した富を手にした有力者が、人びとの上に立った。その力は、古墳に示されている。5世紀の有力者は、武人として近畿地方の有力者に結びつき、朝鮮半島との交流もおこなった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
ムラの生活	令和3年4月～令和4年3月	篠ノ井遺跡群・榎田遺跡土器
馬と科野の武人	令和3年4月～令和4年3月	陣馬塚古墳大刀、松原1号墳馬具・勾玉 他
朝鮮半島からの文化	令和3年4月～令和4年3月	大室古墳（複製）、天冠、帯金具 他

古代 信濃国のなりたちと人びとのくらし

中テーマ 条里と水田

人々は自然を開発し、調和を保ちながら農業を営んできた。土地に刻まれている農業の歴史が、ほりだされた水田の跡から読み取れる。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
水田の跡を掘る	令和3年4月～令和4年3月	石川条里遺跡の土層
水田と農具の変化	令和3年4月～令和4年3月	木製農具（鍬、鋤、杵、槌、えぶり）
条里水田	令和3年4月～令和4年3月	地之目遺跡灰釉陶器（千曲市借用）

中テーマ 都と信濃

7世紀ごろ法律をよりどころとする律令政治が始まった。全国は60以上の国ぐにからなり、国のもとに郡が置かれた。信濃国は10郡に分かれ、人びとはそれまでより都を意識したくらしをおくるようになった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
屋代木簡の世界	令和3年4月～令和4年3月	屋代遺跡群13・15・46・114号木簡（複製）、藤原宮木簡（複製）、平城京木簡（複製）、長岡京木簡（複製）、善光寺縁起、刀子柄
古代豪族と仏教	令和3年4月～10月	軒丸瓦（安曇野市ほか借用）、軒平瓦（上田市借用）
古代の役所	令和3年10月～令和4年3月	円面硯（飯田市借用）、墨書土器（長野市ほか借用）、社宮司遺跡漆紙文書

中テーマ 平安時代の村のくらし

多くの農民が貧しくくらす一方で、豊かな農民があらわれた。彼らは、11～12世紀、武力をたくわえて領主へと成長する。古文書などではわからない彼らのくらしの実態を、発掘調査が明らかにしている。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
大規模集落の出現	令和3年4月～令和4年3月 ※一部、令和3年10月に展示替え	須恵器大甕、銅印（複製）、円面硯、帯金具、墨書土器、緑釉碗・緑釉皿・土師器皿・八稜鏡（重要文化財）、吉田川西遺跡金属製品、南宮遺跡出土土器・火熨斗（長野市借用）
村の信仰	令和4年2月～令和4年3月	社宮司遺跡木造六角宝幢（複製）、埴仏、墨書土器

中世 信濃武士と百姓のくらし

中テーマ 武士の争乱と信濃

領主としての武士は、貴族などと結んで荘園や牧をひらき、騎馬戦を得意とする武装集団となった。しかし、信濃は大名が育たないまま、隣国大名の奪い合う場となっていた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
一所懸命	令和3年3月～4月	市河頼房軍忠状（複製）、斯波義将感

		状（複製）、二宮氏泰奉書（複製）、 二宮氏泰宛行書（複製）
合戦図と武士の世界	令和3年4月～6月	源平合戦図屏風、源頼朝下文（複製）
大塔合戦から川中島へ	令和3年7月～10月	大文字の旗（複製）、斯波義種感状 （複製）、足利義満御教書（複製）、二 宮種氏宛行状（複製）、大塔物語
武將の顔と花押・印	令和3年11月～令和4年3月	織田信長朱印状、豊臣秀吉書状、木 曾義仲下文（複製）、保科正光書状、 武田晴信書状、木曾義仲出陣の図

中テーマ 鎌倉時代の善光寺門前

鎌倉時代には、土地の開発がすすんだ。しかし、災害・飢え・伝染病が絶えなかった。善光寺門前の日常生活とはなやかな仏の世界。ここでは現世と来世、地獄と極楽が隣りあっていた。

テーマ	展示期間	主な展示資料
善光寺と中世の祈り	令和3年4月～令和4年3月	善光寺仏中尊像、密教法具、一遍聖 絵（複製）、一遍上人絵詞伝（複製）
鎌倉時代の善光寺門前 （実物大環境復原）	令和3年4月～令和4年3月	棚店、在家、仏師屋、寺庵

中テーマ 交通と流通

信濃の武士や寺院・神社は、日本各地や中国・朝鮮と交流し、たくさんの品物や文化をとりいれた。寺社の門前や人の集まる場所には市が立って、商業がさかんになり交通も発達した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
太刀と刀	令和3年4月～7月	太刀（銘不明）、刀（銘信舎）
東アジアと信濃	令和3年7月～11月	青磁花瓶、青磁盤、宋銭・明銭、常 滑焼、湖亭春望図
銭を使う人びと	令和3年11月～令和4年3月	薄葉景光太田莊神代郷代官職請 文、市川盛房置文、宋銭・明銭、 常滑焼

近世 江戸時代の町と村の暮らし

中テーマ 領主と町・村

江戸時代になると武士は城下町に住み、役人として俸禄を得る官僚的な制度が確立し、文書

- 9月3日(1日間) 上田市立真田中学校3年生(1名) → コロナウイルス感染症拡大防止のため中止(学校判断)

(2) 高校生による就業体験学習(3校、3名)

- 6月15日～17日(3日間) 長野県稲荷山養護学校3年生(1名)
- 10月5日(1日間) 学校法人豊野学園豊野高等専修学校1年生(1名)
- 3月20日(1日間) 長野県諏訪二葉高校2年生(1名)

(3) 社会人研修(2校、2名)

- 8月5日～6日(2日間) 千曲市立埴生小学校教員キャリアアップ研修Ⅱ(1名)
- 8月11日～12日(2日間) 野沢温泉村立野沢温泉中学校教員キャリアアップ研修Ⅱ(1名)

13 サークル育成活動

○ 古文書愛好会

(1) 館蔵文書を読む会

- ①日時 6月3日(木) 7月1日(木) 7月29日(木) 8月26日(木)
9月30日(木) 11月11日(木) 12月2日(木) 12月23日(木)
9:30～16:00

- ②内容 大井法華堂文書解説

(2) 古文書探訪会

- ①日 時 令和3年10月14日(木)
- ②テーマ「浅間山と信仰の町・岩村田を訪ねる」
- ③目的地 熊野皇大神社 追分宿郷土館 岩村田(西念寺、大井法華堂、龍雲寺)
- ④参加者数 23名

(3) 古文書演習

- ①演習史料 横前家文書
- ②演習Ⅰ 夏季(13:00～16:00)
5月29日(土)・6月26日(土)・7月24日(土)・8月21日(土)・9月25日(土)
- ③演習Ⅱ 冬季(9:30～16:00) ※1月28日以降は中止
1月21日(金)・22日(土)・23日(日)・28日(金)・29日(土)・30日(日)
2月4日(金)・5日(土)・6日(日)・11日(金)・12日(土)・13日(日)
2月18日(金)・19日(土)・20日(日)・25日(金)・26日(土)・27日(日)

(4) 総会 ※新型コロナウイルス感染症対応のため書面審議

- ①日 時 2月27日(日)
- ②議 題
 - ・令和3年度古文書愛好会事業報告・同古文書愛好会会計報告
 - ・令和4年度古文書愛好会事業計画案・同古文書愛好会予算案

14 ボランティア活動

(1) 全体的な活動等

- ① 総会の開催 3月予定を新型コロナウイルス感染防止のため書面開催。
- ② 保険の加入 5回にわたり手続した。保険適用は無かった。
- ③ 募集 ホームページ、千曲市のちらし回覧、エントランスにちらし設置等
- ④ 名簿作成 ボランティア会員数

		体験	解説	作業	合計(延数)	実数
年度当初数(人)	4/1	48	27	17	92	61
年度末数(人)	3/31	53	28	27	108	72

- ⑤ 招待券・館だより等の送付
※例年、会員を内覧会へ招待していたが、新型コロナウイルス感染症対応のために今年度も招待しなかった。
- ⑥ ボランティアルームの管理

(2) 解説ボランティア活動

- ① 一般客への展示解説 「日曜解説」
 - ・実施日 毎週日曜日と祝日(通年) 21日(11月～2月)
 - ・実施時間 午前10:30～12:30 午後1:30～3:30(12～2月は1:00～3:00)
 - ・解説人数 午前・午後ともに1～2名
 - ・解説方法 マスク、ソーシャルディスタンス等の感染防止対策を行い、展示室で声がけをしながら適宜行った。
- ② イベント時における展示解説と監視
 - ・企業協賛の日(KOAの日)には、監視も兼ねて解説をしていただいた。
- ③ 研修 日曜解説研修(研修者の都合に合わせて実施)、内覧会、自主研修ほか

(3) 体験ボランティア活動

- ・KOAの日のプラ板づくり、クリスマスリースのキットづくり、クリスマスリースづくりで活動を行った。
- ・コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者が密になる勾玉づくりは行わなかったため、勾玉づくりに関わる活動は行えなかった。

(4) 作業ボランティア活動

- ①活動内容 ※平日に活動
 - ・木製品処理 ※実施日:79日(7月～3月) 実会員:16名

- ・文献史料整理（目録作成のパソコン入力やラベル貼り）
※実施日：179日 実会員：8名（それぞれ週1日程度）
- ・図書整理 ※実施日：28日（8月～3月）実会員：3名
- ②運営等 それぞれ考古資料課、文献史料課から連絡し、運営した。

15 博物館関係職員等研修会

新型コロナウイルス感染症対応のため急ぎよ中止した。【以下、計画】

- (1) 趣 旨 博物館等の運営に携わる職員等を対象に博物館が直面する諸問題について研修を行い、関係職員の資質の向上と交流を図り、県内博物館活動の促進に資する。
- (2) 主 催 長野県教育委員会、長野県博物館協議会
- (3) 期 日 令和4年2月17日（木）
- (4) 会 場 長野県立歴史館
- (5) 参加対象者 博物館（公立・私立博物館、歴史民俗資料館、考古資料館）等職員、市町村教育委員会職員、教育事務所等県職員、県文化振興事業団職員（埋蔵文化財センター、創造館、文化会館等）
- (6) 日程・内容
 - 10:30～10:35 開会行事
 - 10:35～11:50 講演会「民俗伝承の調査と記録—今に活かし、将来に伝えるために—」
講師：櫻井 弘人 氏
 - 11:50～13:10 昼食
 - I 講座
 - 13:10～14:15 ①「展示資料の3D データ化について」
講師：牧野 令 氏（塩尻市立平出博物館学芸員）
 - 14:20～14:50 ②「おうちで歴史館について」
講師：柴田 洋孝（長野県立歴史館学芸員）
 - II 実務研修
 - 13:10～13:40 ① 土器等の梱包
 - 13:45～14:15 ② 屏風・軸・卷子・刀等の梱包
 - 14:20～14:50 ③ 冬季企画展
 - 14:50 閉会

*新型コロナウイルス感染防止策

- ・午後については講座、実務研修のどちらかを選択してもらい三密を防ぐ
- ・募集人数制限（講演会・講座については80名、実務研修については30名）
- ・講堂の座席間隔設定、換気、質問はとらない

- ・参加者の昼食会場は会議室および講堂とする
- ・参加者全員のマスク着用
- ・受付での体温測定、手指消毒

16 職員派遣(出前講座)

月 日	派 遣 先	内 容	参加者数	職員
4月11日	縄文ファン倶楽部セミナー	今、よみがえる縄文時代ー入門編	21	近藤 尚義
4月11日	大桑村地域展 「大桑村の米づくりのはじまり」講演会	木曾谷の米づくりのはじまり	27	町田 勝則
4月20日	蓼科高校蓼科学	中山道	35	小野 和英
4月27日	蓼科高校蓼科学	中世の信仰の道	36	村石 正行
5月21日	松代公民館講座「海津学園」	北信濃の古代寺院と仏教の広がり	48	柴田 洋孝
5月22日	信濃史学会シンポジウム	地域資源としての公文書 地域資料を散逸させないために	80	村石 正行
5月22日	大桑村地域展 「大桑村の米づくりのはじまり」講座	小学生わくわく隊出前講座	37	町田 勝則
6月3日	市立長野高校ながのろじー	博物館が守った古代匠の技と心 木製品の保存とともに30年	13	水沢 教子
6月15日	長野市塩崎小学校歴史学習	縄文時代や弥生時代の人々のくらし	43	近藤 尚義
6月18日	松代公民館講座「海津学園」	青少年義勇軍が見た満州	48	大森 昭智
7月11日	大町図書館地域展 「信州の古代出土品展」講演会	想像してみよう！古の大町	28	町田 勝則
7月14日	長野県シニア大学長野支部	青少年義勇軍が見た満州	13	大森 昭智
7月15日	市立長野高校ながのろじー	戦国の世を生きた木曾義昌	12	宮坂 到
7月20日	屋代高校 SSHミニ・フォーラム	考古学って、何？	15	町田 勝則
7月24日	山形村地域展 「歴史・文化を学ぼう！」講演会	松本盆地の弥生文化を語る	26	町田 勝則
8月4日	長野県シニア大学長野支部	古代信濃の仏教寺院	12	柴田 洋孝
8月22日	長谷公民館地域展 「縄文土器から弥生土器」講演会	縄文土器から弥生土器	中止	町田 勝則
9月10日	長野西高校梶の葉セミナー	古代水内郡の中心地 元善町遺跡と県町遺跡を中心に	中止	柴田 洋孝
9月11日	岡谷美術考古館地域展 「土器の比較から見る弥生文化」講演会	諏訪湖周辺における稲作文化の形成	中止	町田 勝則
9月11日	小諸市民大学講座	人の営みと道 古代と現代の道路構造の比較から	中止	白沢 勝彦
9月13日	飯山市城南中学校平和学習	青少年義勇軍が見た満州	118	大森 昭智
9月24日	長野県シニア大学佐久支部	全盛期の縄文土器	40	水沢 教子
9月28日	長野県シニア大学長野支部	長野盆地における縄文時代の黒曜石利用	13	杉木 有紗
9月30日	南相木村地域展 「歴史探訪 大師遺跡から学ぶ」講座	地元の歴史を知ろう～佐久地域の縄文・弥生時代	23	町田 勝則
10月6日	長野県シニア大学長野支部	長野盆地における縄文時代の黒曜石利用	14	杉木 有紗
10月6日	信州大学講義「環境マインド実践基礎論」	縄文文化からみた長野県	98	水沢 教子
10月7日	市立長野高校ながのろじー	長野県の近世城郭遺跡における石垣構築技術	15	白沢 勝彦
10月20日	長野県シニア大学長野支部	全盛期の縄文土器	15	水沢 教子
10月23日	軽井沢町歴史民俗資料館	全盛期の縄文土器をよむ	23	水沢 教子

10月26日	長野県シニア大学長野支部	全盛期の縄文土器	13	水沢 教子
10月29日	湯～ぱれあ郷土史講座	博物館が守った古代匠の技と心 - 木製品の保存とともに20年 -	7	水沢 教子
11月11日	市立長野高校ながのろじー	青少年義勇軍が見た満州	12	大森 昭智
11月12日	長野県文化財保護研修会	中世・近世文書、歴史的価値ある公文書等の収集・保全	80	村石 正行
11月19日	湯～ぱれあ郷土史講座	日本列島に初めて人類が来た頃の話	14	鶴田 典昭
11月21日	山梨県考古学協会研究集会	大木式土器の南下	186	水沢 教子
11月24日	稲荷山公民館歴史講座	長野盆地における縄文時代の黒曜石利用	23	杉木 有紗
11月28日	本洗馬歴史講演会	三村氏と小笠原氏の時代	80	村石 正行
12月12日	「善光寺と諏訪信仰」シリーズ講座	大祝諏訪頼重をめぐって	40	村石 正行
12月15日	佐久地域戦略会議ミニ講演会	災害と時代の変化－浅間火山－	38	近藤 尚義
12月21日	佐久穂町古文書を学ぶ会記念講演会	木曾義仲の活躍	30	村石 正行
3月19日	池田町新池田学みのり塾	近世信濃の衣料	延期	小野 和英
3月21日	平出歴史文化セミナー	北日本から信州の縄文文化をひもとく	61	水沢 教子
3月28日	佐久コスモスロータリークラブ例会	五稜郭をつくった大給恒	35	中野 亮一

1472

IV 共催事業等

月 日	共催事業	共催団体	参加者数
6月6日	考古学セミナー	長野県考古学会	中止
12月4日	近世史セミナー	信濃史学会, 近世史セミナー	30
6月24日	長野県史料保存活用連絡協議会講習会①	長野県史料保存活用連絡協議会	33
10月29日	長野県史料保存活用連絡協議会講習会②	長野県史料保存活用連絡協議会	28
1月28日	長野県史料保存活用連絡協議会講習会③	長野県史料保存活用連絡協議会	24
6月～12月	古文書愛好会 館蔵文書を読む会 (8回)	古文書愛好会	246
10月14日	古文書愛好会 古文書探訪会	古文書愛好会	23
5月～2月	古文書愛好会 古文書演習 (8回)	古文書愛好会	116
2月27日	古文書愛好会 総会講演会	古文書愛好会	中止
7月13日	総合教育センター研修	長野県総合教育センター	9
7月27日	教員免許状更新講習A	信州大学	20
8月3日	教員免許状更新講習B	信州大学	19
2月8日	信州大学学芸員資格取得講座 (博物館史料論)	信州大学	11
2月17日	博物館関係職員等研修会	長野県博物館協議会	中止
(4/1)～5/9	「掘るしん2021」県埋文センター速報展	長野県埋蔵文化財センター	1219
3/19～(3/31)	「掘るしん2022」県埋文センター速報展	長野県埋蔵文化財センター	656
(4/1)～5/30	「大桑村の米づくりのはじまり」展	大桑村教育委員会	730
6/2～7/7	「古代を知ろう-弥生時代の信州と九州紹介」展	木曾町教育委員会	6000
4/1～6/27	「信州の古代出土品展」	大鹿村教育委員会	527
7/16～8/25	「歴史・文化を学ぼう！」展	下條村教育委員会	327
7/3～8/31	「縄文土器から弥生土器」展	伊那市教育委員会・長谷公民館 ・伊那市創造館	550
6/24～7/18	「大町おおむかし芸術展」	大町市立大町図書館	5488
7/9～8/10	「山形村ふるさと歴史展示」	山形村教育委員会	516
7/20～8/31	「白馬村ふるさと歴史展」	白馬村教育委員会	500
10/27～11/4	「弥生時代とクニのはじまり」展	小谷村教育委員会	149
11/6～12/5	「土器特別展～1700年前に池田に住んだ弥生人」展	池田町教育委員会	3650
9/4～11/7	「土器の比較から見る弥生文化」展	岡谷市教育委員会	652
7/30～9/30	「発見！青木村にナウマンゾウ！？」展	青木村教育委員会	1456
9/28～10/18	「歴史探訪 大師遺跡から学ぶ」展	南相木村教育委員会	178
9/11～26	「佐久穂町歴史展」	佐久穂町教育委員会	中止
12/7～2/27	「小野のシダレグリ自生地パネル展」	辰野町教育委員会	3692

V 出版

1 長野県立歴史館たより

(1) 夏号 vol. 107 表紙 熊谷元一《農場で一休みの義勇兵》

令和3年6月1日発行 A4判、8頁(オールカラー)

主な内容：「常設展示室紹介」、「夏季企画展 青少年義勇軍が見た満州一創られた大陸の夢」、「研究の窓 弥生社会に見る倭製の誕生～大陸系磨製石器の受容～」、「長野県立歴史館文献史料課のお仕事 その1 書庫と保存のひみつ」、「インフォメーション2021年6月～9月の行事予定」、「行事アルバム」

(2) 秋号 vol. 108 表紙 富士見町曾利遺跡出土深鉢(井戸尻考古館蔵)、十日町市笹山遺跡出土深鉢(十日町市博物館蔵)、茅野市棚畑遺跡出土深鉢(茅野市尖石縄文考古館蔵)

令和3年8月1日発行 A4判、8頁(オールカラー)

主な内容：「秋季企画展 全盛期の縄文土器一圧倒する褶曲文」、「文献史料をよむ 聖護院門跡道増の寄進状」、「考古資料をよむ 水田と鳥形土製品」、「歴史資料をよむ 近世の地機」、「冬季企画展のお知らせ 没後80年郷愁の画家 丸山晚霞一師友とその時代」、「インフォメーション2021年9月～12月の行事予定」、「行事アルバム」

(3) 冬号 vol. 109 表紙 丸山晚霞《柵津風景》(個人蔵)

令和3年12月10日発行 A4判、8頁(オールカラー)

主な内容：「冬季企画展 没後80年郷愁の画家 丸山晚霞一師友とその時代」、「歴史資料を読む 音楽再生の進歩と歴史」、「考古資料をよむ 目指すかたちと機能が語る“匠の技”—小諸市岩下遺跡の石槍—」、「文献史料をよむ 『区会条例裁令書』南佐久郡役所」、「研究の窓 遺跡立地の地域性～遺跡に立って、空気を感じる～」、「インフォメーション2021年12～2022年3月の行事予定」、「行事アルバム」

(4) 春号 vol. 110 表紙 上田市陣馬塚古墳直刀・富士見町札沢遺跡の動物装飾付釣手土器(当館蔵)

令和4年2月9日発行 A4判、8頁(オールカラー)

主な内容：「令和4年度の歴史館」、「秋季企画展『全盛期の縄文土器』を終えて 『全盛期』の背景をよむ」、「2022年所蔵品展 至宝の名品-学芸員のイチ押し考古資料編-大地からのメッセージ」、「考古資料を読む、考古資料のデータベース化」、「文献史料を読む、長野県立歴史館『長野県測量図』・『絵図地図』閲覧システム」、「インフォメーション2022年3月～6月の行事予定」、「行事アルバム」

2 研究紀要

『長野県立歴史館研究紀要』第28号 令和4年3月31日発行、A4判、109頁、1,000円

<内容>

口絵／資料紹介

新収蔵史料 武田晴信書状

村石 正行

◇研究報告

武田氏と諏訪社—歴史館所蔵の如法院文書—

笹本 正治

信濃守護代二宮氏泰考

村石 正行

「町村誌」から見た長野県の稲荷社

小野 和英

川絵図・測量図からみた治水史—千曲川・犀

川の近世から近代の所蔵図面史料をもとに—

山浦 直人

◇研究ノート

屋代遺跡群出土の被覆型埋甕とその胎土

水沢 教子

考古学における史料批判

鶴田 典昭

◇授業実践

見方・考え方を深める歴史資料の教材化

—石器製作の実態と降下火山灰の記録から—

近藤 尚義

◇職員執筆抄・研究活動

◇長野県立歴史館研究紀要文献一覧

有舌尖頭器（杉木有紗）、大木9式系土器（水沢教子）、動物装飾付釣手土器（水沢教子）、

水さらし場状遺構（杉木有紗）、大陸系磨製石斧（町田勝則）、指輪型石製品・棗玉（鶴田典昭）、丸木舟（小林伸子）、赤漆塗り竪櫛（白沢勝彦）、銀象嵌大刀（飯島公子）、緑釉陶器（中野亮一）、鉄鐸（笹本正治）、六角宝幢（町田勝則）、瓦塔・埴仏（柴田洋孝）、古瀬戸四耳壺（近藤尚義）

3 その他

(1) 令和3年度催しもの案内（前期） （後期）

A4判（21.0×29.7cm）、三つ折カラー

(2) 『信州の風土と歴史 26 学芸員が語る長野県立歴史館所蔵品選 第2巻—考古資料—』令和4年3月19日発行、 B5判、80頁、1000円

<内容>

はじめに（笹本正治）、斧形石器・砥石（鶴田典昭）、大型接合資料と石槍（近藤尚義）、

VI 閲覧・情報提供

1 図書等資料

(1) 図書資料数

(単位：冊)

区 分	図書	逐次刊行物	図録	小冊子	遺跡報告書	小計
自館制作	1	2	3	6	0	12
購 入	39	231	1	0	0	271
寄 贈	219	1,069	336	0	102	1,726
令和3年度計	259	1,302	340	6	102	2,009
累 計	41,393	37,299	7,494	10,739	26,271	123,196

(2) 公開用雑誌製本

雑誌製本 6件

(3) 映像資料

購入DVD 0本、寄贈DVD 10本

寄贈CD-ROM 0本

累計 125本

2 情報提供

(1) レファレンス

295 件(お問い合わせフォーム・電話・閲覧室)

(2) ホームページアクセス数

94,085 件

VII 調査研究

1 調査研究の体制と内容

(1) 趣 旨

歴史館の運営及び事業を行うため、歴史館職員として必要な専門的な知識・技術等の向上を図ることを目的とする。

(2) 体 制

学芸部全職員による学芸研究会および原始、古代・中世、近世、近現代の各時代担当者による時代別研究会によって構成する。

(3) 内 容

史資料の収集・整理、常設展示・企画展示、本館主催の各種講座等の実施に関わる事項および今後の歴史館の運営及び事業を行うために必要と思われる事項について調査研究を進める。

2 学芸研究会

歴史館学芸部職員の職務能力の向上をはかるため、下記のとおり学芸研究会をおこなった。

・1回(5月26日)

○特別館長講話 歴史研究の方法 「信濃の虚空蔵山」

笹本 正治

第2回(6月23日)

○各自研究テーマ発表

第3回(7月28日)

○もうひとつの五稜郭をつくった『大給 恒』

—大久保一蔵との関係を探る—

中野 亮一

第4回(8月25日)

○中世の「地下」文書とは何か —挙状という文書を手がかりに—

村石 正行

○公民的分野「私たちの生活と分野」授業報告「佐久市跡部の念仏踊り」

河野 智枝

第5回(9月29日)

○諏訪と武田氏

宮坂 到

○歴史館史料と信州の近代

名誉学芸員 山浦 直人 氏

第6回(10月27日)

○狩猟採集の社会から農耕社会へ(3)

—呪術そして祭祀の狭間、縄文石器—

町田 勝則

○博物館のマーケティング戦略について

柴田 洋孝

第7回(11月25日)

○満蒙開拓青少年義勇軍を支えた社会

—教員・女性・勤労奉仕隊それぞれの立場から—

大森 昭智

○考古学における史料批判

鶴田 典昭

第8回(12月22日)

○長野盆地における縄文時代の石器の材料

—千曲市屋代遺跡群の石鏃から—

杉木 有紗

○石垣遺構調査から窺える近世城郭の遺存状態 —松本城・小諸城—

白沢 勝彦

第9回(1月26日)

○水彩画家丸山晚霞 生涯と芸術

林 誠

第10回(3月16日)

○浅間山噴火に関わる遺跡の在り方

ー噴火災害・湧水・伝説・神秘的な石器、そして教材化へー

近藤 尚義

第11回(3月23日)

○上田市陣馬塚古墳の出土遺物についての一考察

飯島 公子

3 時代別研究会

(1) 令和3年度 時代別所属者名

	学芸部長	総合情報課	考古資料課	文献史料課
原 始		水澤 教子 飯島 公子	町田 勝則 鶴田 典昭	
古 代 中 世		宮坂 到 杉木 有紗	近藤 尚義	村石 正行
近 世		小野 和英 河野 智枝 柴田 洋孝	白沢 勝彦	入沢 昌基
近現代	中野 亮一	林 誠 内城 正登		大森 昭智

(2) 時代別研究会の主な業務

- ① 常設展示内容の検討
- ② 常設展示のリニューアルに向けての検討
- ③ 講座発表の検討
- ④ 企画展に関する検討
- ⑤ 収蔵史資料の調査・研究
- ⑥ ブックレット原稿の検討

Ⅷ 資料の収集・整理・保存

1 資料収集の方針

(平成3年6月建設委員会決定)

(1) 資料収集の基本方針

資料収集は歴史館にとって基本的な機能であり、その規模と質が歴史館の機能を左右することにつながっている。したがって、資料収集は長期的計画的に行うとともに、開館にむけて短期的課題として集中的な対応が必要である。

次の諸点に留意し、資料収集に当たるものとする。

① 資料保存体制の整備

歴史館は埋蔵文化財資料と文献史料を収集保存し、調査研究と活用を図る機関である。そのためには、県内の資料保存問題に深く留意するとともに、資料の分布調査、整理、保存、公開等のための措置と体制を長期的計画的に整備する必要がある。

② 既存諸機関との関係

県内市町村の歴史資料館等既存の類似施設や諸機関は、それぞれ歴史的背景をもち、多くの成果をあげている。歴史館はこれらの諸機関を十分尊重し、友誼的関係を結び、相互に協力しつつ資料保存整備に当たることが重要である。

③ 資料所蔵者との関係

資料は、県民の理解を得て寄贈寄託を図ることが望ましい。その際、所蔵者との信頼関係を長期にわたり維持発展させていくことが重要である。なお、商品として市場にある資料などは、必要なものを機を失せず購入することが望ましい。

④ 歴史情報システムの整備

歴史館は、郷土や地域の歴史についての情報の収集、提供を行う。そのため、収蔵資料情報以外にも、県内外資料情報、歴史情報、各種目録等を長期的計画的に収集し、総合的、有機的に利用できるよう、コンピュータ化する必要がある。

(2) 資料収集の具体的方針

① 収集資料の種類

(a) 保存用資料

埋蔵文化財資料、行政文書、古文書など歴史的に重要であり、保存、収蔵していること自体に意味があるもの。歴史館としての評価はこの部分の規模と質によって決まる。

埋蔵文化財調査及び、県史編纂の過程で収集した資料を中核としながら、寄贈、寄託、購入などによっても収集を図る。

(b) 展示用資料

常設展示や企画、巡回、特別展示などに必要な資料

で、歴史館所有保管にならないものも含み、借用、複製、購入などによって収集を図る。

(c) 研究用資料

教育普及、情報提供や長野県の歴史、郷土に関する調査研究など、館内または外部研究者、来館者の学習、研究上必要な資料を収集する。

(d) 歴史情報資料

諸学会、研究団体、歴史民族資料館などが所有する地域史料の情報、地域史研究に関わる歴史情報などを収集し、総合的、有機的に利用できるよう、コンピュータによるデータベース化を図る。

① 収集資料の範囲

(a) 歴史館は、考古館及び文書館施設としての性格をもった歴史博物館的施設である。従って収集対象とする資料の時代的範囲は、原始から現代に及ぶものとする。

(b) 収集資料の地域的範囲は、おおむね現在の県域を中心とする。しかし、長野県は東西文化の結節点に位置し、東西交流はもとより太平洋側と日本海側を縦断する南北交通の要衝にあり、本県に関連する重要資料は、全国に存在しているため必要に応じて全国的視野からの収集を考慮する。

(c) 歴史館は、長野県に関する埋蔵文化財資料及び文献史料の収集を主とするが、それ以外にも下記のような展示、調査研究等に活用できるものを中心に可能な限り収集する。

ア 信濃の歴史の変遷や生活風土の諸相を示す資料

イ 美術工芸品で長野県に関係が深く展示テーマに合致する資料

ウ 各時代の生活の特色を示す生活民俗資料

エ 地域史研究に役立つ文献以外の諸資料（地名、地図、伝承、風俗、地割等）

③ 資料収集の方法

(a) 資料は、埋蔵文化財センター、信濃史料刊行会、長野県史刊行会、長野県立図書館などで収集された資料の移管、委譲をはじめ、県民の理解を得て寄贈、寄託が望ましい。そのため、早くから広報活動を行い、必要な資料については、購入、複製収集などに当たる。

(b) 寄贈、寄託、購入などに当たっては必要に応じ専門家の意見を聞くものとし、取扱いについては別途定める。

(c) 本館の活動が、県内市町村の歴史資料館等類似施設の活動に不安を与えることのないように配慮する。資料は、現地保存、現地公開、現地利用を原則とし、贈、寄託等を受けるに当たっては、所蔵者との交渉のみならず市町村の了解を得ることが望ましい。これらの諸機関との友誼的関係にたつて収集に当たる。特に歴史的価値が高いもので、

ア 市町村において保存、整理、公開の対応ができないものの

イ 資料散逸の危機性が高く、早急な対応が必要なものについては優先的に対応する。

(d) 資料収集は、県内の所在資料について詳細な調査を進めるとともに、県外所在資料についても順次調査を行う中で系統的長期的に行う。資料の選択と評価にあたっては、個人的、時代的な価値判断に陥らないよう、十分留意するものとする。

(e) 県内における文献史料の所在、分布調査等を行うため、資料調査員制度を設ける。

(f) 歴史的に重要な行政文書等の収集・保存を組織的系統的に行う。

2 展示資料

(1) 収集資料数（件）

区 分	製作・購入	移管	寄贈	寄託	計
令和3年	0	0	85	0	85

(2) 製作・購入・移管資料の内訳

なし

(3) 寄贈

品名	員数	時代	備考
青少年義勇軍壮行会看板	1 点	近現代	青少年義勇軍壮行会時の看板
鷹野幸助満州建設勤労奉仕隊資料	38 件	近現代	満州建設勤労奉仕隊関連資料
齋藤兼雄 南五堂 岡長野村開拓団・シベリア抑留資料	12 件	近現代	南五堂岡長野村開拓団・シベリア抑留関連資料
満州高社郷開拓団 片桐正晴手記	1 点	近現代	満洲移民関連資料
満洲愛川村風景写真	3 点	近現代	満洲移民関連資料
真空管式ステレオ	1 台	近現代	昭和 30 年代の真空管式ステレオ

扇風機	1 台	近現代	大正末期製造、三菱電機社製。
櫓炬燵	1 台	近現代	昭和初期に使用していた櫓炬燵
日章旗	1 点	近現代	太平洋戦争出征時の寄せ書きが書かれた日章旗。
立屋口留番所資料	11 件	近世	松代藩の立屋口におかれた口留番所の資料
パリ万国博覧会銅メダル	1 点	近現代	1878 年のパリ万博時、日本代表団に与えられた銅メダル
春秋農耕図	12 幅	近世	岩波其残が春・秋の農作業を描いた農耕図
村田史郎資料	1 式	近現代	木曽森林鉄道に関する資料
町田守衛資料	1 式	近現代	松本 50 聯隊に関する資料

(4) 寄託

なし

(5) 修復

・蓄音機、掛け時計、扇風機、太刀

3 考古資料

(1) 収集資料数（件）

区 分	購入	移管	寄贈	寄託	計
令和3年	0	0	0	0	0

(2) 購入・移管資料の内訳

なし

(3) 寄贈・寄託の内訳

なし

(4) 保存処理・修復・科学分析

・保存処理・科学分析

館蔵脆弱資料のうち劣化が深刻な資料に対して、集中的な保存処理を継続実施。

当館の設備を用いて、当県の歴史の研究のために必要とされる科学分析を実施した。

長野県埋蔵文化財センター並びに市町村教育委

員会へ必要な技術協力を行なった。

・その他

市町村埋蔵文化財担当者および博物館施設職員等を対象とした考古資料保存技術講習会を、「石製品の保存修復と保管環境」というテーマで2会場実施し、計21名の参加が得られた。

項 目	内 容		件 名 ・ 資 料 名	処理点数	状 況	所 管	
木 器	保存 処理	大型 木器等 PEG処理 槽一括 処理	PEG法※1 第37シリーズ (A槽) 〈川田条里遺跡A〉 第37シリーズ (E槽) (石川条里遺跡他)	124 101	完 了 完 了	当 館 当 館	
		小型 木器	FD法※2 (FD処理待 ち含む)	0			
		完 了 合 計			225		
		PEG処理後写真 記録整理	第37シリーズ (A槽124点) 第37シリーズ (E槽 点)	101	完 了	当 館	
			第37シリーズ (記録整理)	225	完 了	当 館	
	金 属	保存処理・修復		峯謡坂遺跡	30	完 了	当 館
土 器	上木戸遺跡出土 縄文土器 (部分)			2	完 了	当 館	
木 造	大井法華堂 弁財天座像 (破片接合)			1	完 了	当 館 (寄贈品)	
漆 喰	京雛人形 (欠損部樹脂補てん)			3	完 了	当 館 (寄贈品)	
	X線透過撮影観察	石川条里遺跡出土 青銅器	22	完 了	長野県埋蔵文化財センター		
		石川条里遺跡出土 鉄器	10				
		旧雨宮家 柄鏡	3	完 了	当 館 (寄贈品)		
	合 計			71			
保存処理・観察・分析・修復・環境管理等問合せへの回答				17件		12市町村	

※1 ポリエチレングリコール処理を実施したもの (最終的にポリエチレングリコールを100%まで浸漬)。

※2 真空凍結乾燥法で保存処理したもの。

4 文献史料

(1) 行政文書

① 収集・整理

- ア 行政文書 814 冊
- イ 行政資料 281 冊（長野県の行政刊行物等）
- ウ 県報 127 件（令和 3 年 1 月～令和 3 年 12 月分 製本）

② 公開・非公開判定

- ア 行政文書の公開・非公開判定会議 1 回実施

③ その他

- ア 保存箱作成、金属除去、ラベル貼り

④ 公開

- ア 750 冊

(2) 近現代資料収集・整理・保存

① 収集・整理

G40 六川家文書など 13 件を収集した。

G	40	六川家文書
G	41	慶雲堡舎営病院業務報告
G	42	史跡森將軍塚古墳周辺防災地質調査報告書
G	43	教育資料 15 点長野市尋常高等小学校子守の心得
G	44	国宝善光寺本堂図面
G	45	国指定史跡・文化財図面上田城・開智小学校
G	46	竹鼻光雄青少年義勇軍現地訓練所資料
G	47	下高井教育会満州視察関係資料
G	48	竹内家資料
G	49	伊那建設事務所旧蔵測量図
G	50	長野県信濃寮資料
G	51	日本測定器株式会社疎開資料
G	52	町田守衛資料

目録の公開は 0 件

② 保存

- ア 長野県史写真フィルム（35mm）の洗浄・複製製作（業者委託）
継続事業 諏訪郡 468 本

(3) 古文書

① 収集（※＝概数含む） 4,310 点

文 書 名	内 容
寄贈	

更級郡森村宮尾家資料	7 点	甲越信戦録 7 冊
池口寺文書	4 点	木曾義昌宛行状ほか
本池悟収集書簡資料	330 点	長野県出身教育関係者・事業家・政治家・文化人などの書簡
佐久郡伴野村木内家文書	*3, 000 点	近世下平村・近代伴野村に関わる地方文書
4 件	計 3, 341 点	
寄託		
なし		
購入		
下川路村関島家文書	911 点	幕末の地方蘭方医関島良基・良致に関わる文書群
武田晴信書状	1 点	晴信が家臣の知行地を開発の担保としたことを示す史料
歓喜公実録	8 点	上田藩主で大坂城代であった松平忠周の公式伝記
真田家心得資料	3 点	「御廣間万端心得手控」・「勤方心得日記」・「御在所御番方」の 3 冊
松平忠輝黒印状	1 点	川中島藩主松平忠輝が案崎氏の領地を安堵した文書
百瀬陣屋近藤家控帳	44 点	百瀬陣屋（松本市寿）の代官を務めた近藤家の江戸末期から明治初期までの三代の諸帳簿、代官支配関係帳簿など
御家中年数御改帳	1 点	天保 2 年の写本で、上田藩松平家の徒士以上 366 名の全藩士各家の略伝を掲載
7 件	計 969 点	

②寄託から寄贈へ変更

文 書 名	内 容
水内郡小根山村立屋口番所鈴木家文書 239 点	所蔵者逝去のため寄託から寄贈へ管理変更
1 件 計 239 点	

③ 整理（※＝継続整理中）

文 書 名	点数（点）
小県郡神川村山邊家文書	82
埴科郡五加村中村義雄資料	20
佐久郡八重原村黒沢家文書	2677
筑摩郡殿村上原家文書	1043
埴科郡森村宮尾家史料	7
木曾郡殿村池口寺文書	35
芦田宿本陣土屋家文書（H）	628
芦田宿本陣土屋家文書（M）	667
伊那郡下川路村関島家文書	911
百瀬陣屋代官近藤家文書	44
松本市文書館移管文書（追加分）	297
水内郡後町村十念寺文書	1030
村石正行収集文書（寄託）	44
（継続分）	
信濃藩政関係史料	12
石川欣一資料	943
小県郡神川村尾崎家文書（盛信文庫）	3378
水内郡水内村北原家文書	3876
伊那郡大草村横前家	1967
佐久郡八幡宿依田家文書	5218
伊那郡高遠町岡部家文書（村石正行収集文書）	410
20件 合計	23, 289

④ 公開（WEBも含めて）

番号(地区・通番)	文 書 名	点数（点）
5-69	筑摩郡殿村上原家文書	1, 043
9-46	水内郡後町村十念寺文書	1, 030
2-31	佐久郡八重原村黒沢家文書	2, 677
7-60	埴科郡森村宮尾家史料	7
6-5	木曾郡殿村池口寺文書	35
2-11	芦田宿本陣土屋家文書（H）	628
4-48	伊那郡下川路村関島家文書	911
2-11	芦田宿本陣土屋家文書（M）	667
5-75	百瀬陣屋代官近藤家文書	44
0-27	松本市文書館移管文書（追加分）	297
0-29	村石正行収集文書（寄託）	44
	（継続分）	
0-21	信濃藩政関係史料	12
12件 合計		7, 395

⑤ 収蔵文書目録 21 の刊行

文書番号	収 録 文 書 名
4-37.	伊那郡石曾根村飯島家資料

⑥ 古文書のマイクロ化・紙焼き・製本

マイクロ	佐久郡大井法華堂文書	2,850 カット (継続)
紙焼・製本	佐久郡大井法華堂文書	2,850 カット (継続)

⑦ 資料の修復 (業者委託)

「大井法華堂文書」 (卷子装)

(4) その他

- ① 燻蒸釜による燻蒸8回 行政文書、行政資料、古文書、展示資料など

IX 広 報

1 広告・案内

当館の紹介や企画展示・関連行事・講座等で実施した主な広報は以下の通りである。下記以外に千曲市内および長野市内の諸機関等への手配りチラシ広報を実施している。また、各報道機関への案内・当館及び県博協、日博協などのホームページの情報更新も適宜行っている。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、広報後に講演会やイベントなどが中止になったものもある。

月	掲載・掲示	内 容	規 格	備 考
4月	朝日新聞 信濃毎日新聞 読売新聞 信濃毎日新聞 八十二文化財団広報紙 読売新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	「至宝の名品—学芸員のイチ押し 絵画工芸編」 縄文ファン倶楽部セミナー「今、よみがえる縄文時代」入門編 「至宝の名品—学芸員のイチ押し 絵画工芸編」前期 研究誌「県立歴史館 研究紀要」(第27号) 2021年所蔵品展「至宝の名品—学芸員のイチ押し 絵画工芸編—」 長野県立歴史館所蔵品展「至宝の名品—学芸員のイチ押し 絵画工芸編—」 歴史館でこどもの日 子ども先着100人に記念品をプレゼント 信州学講座(5月8日)「新たな時代にはばたく信州」	新聞 新聞 新聞 新聞 広報紙 新聞 新聞 新聞	講座・講演会(講師派遣) 県内美術館・博物館情報 本の散歩みち 美術館・博物館での催し 県内美術館・博物館情報 週間ガイド 週間ガイド
5月	市報千曲5月号 市報千曲5月号 毎日新聞 ながの情報NEXT 6月号 信濃毎日新聞	信州学講座(5月8日)「新たな時代にはばたく信州」 歴史館でこどもの日 入館記念品をプレゼント 信州学講座(6月12日)「伝えられなかった災害」 長野県立歴史館所蔵品展「至宝の名品—学芸員のイチ押し 絵画工芸編—」 「至宝の名品—学芸員のイチ押し 絵画工芸編」後期	広報誌 広報誌 新聞 フリーペーパー 新聞	インフォメーション インフォメーション 情報バレット イベント情報 展覧会・県内
6月	市報千曲6月号 市報千曲6月号 読売新聞 朝日新聞 ケーブルネット千曲6月 八十二文化財団広報紙 ながの情報NEXT 7月号 信濃毎日新聞 博物館研究 7月号	信州学講座(6月12日)「伝えられなかった災害—明治三陸地震津波から125年—」 考古学講座(6月19日)「長野県の考古学—時代の画期とくらしの変化(1)〜」 信州学講座(6月12日)「伝えられなかった災害—明治三陸地震津波から125年—」 県立歴史館の信州学講座「伝えられなかった災害」「近くて遠い人と水」 県立歴史館の信州学講座「新たな時代にはばたく信州」 夏季企画展「青少年義勇軍が見た満州—創られた大陸の夢」 長野県立歴史館夏季企画展「青少年義勇軍が見た満州—創られた大陸の夢」 信州学講座(7月3日)「近くて遠い人と水」 「青少年義勇軍が見た満州—創られた大陸の夢」	広報誌 広報誌 新聞 新聞 広報紙 広報紙 フリーペーパー 新聞 日博協 冊子	インフォメーション インフォメーション イベントガイド インフォメーション オススメ番組紹介 美術館・博物館での催し イベント情報 週間ガイド (歴史)一覧

7月	市報千曲 7月号	歴史館で夏休み(8月1日)「土器レプリカの着色などの体験イベント」	広報誌	インフォメーション
	市報千曲 7月号	信州学講座(7月3日)「近くて遠い人と水」	広報誌	インフォメーション
	市報千曲 7月号	考古学講座(7月17日)「道具の変化と生業の変化」	広報誌	インフォメーション
	市報千曲 7月号	親子で知ろう!考えよう!夏休み平和学習会(7月24日)	広報誌	インフォメーション
	市報千曲 7月号	県立歴史館夏季企画展「青少年義勇軍が見た満州ー創られた大陸」	広報誌	インフォメーション
	市報千曲 7月号	講演会(7月18日)「青少年義勇軍になる〜『鉄の戦士』の素顔」	広報誌	インフォメーション
	市報千曲 7月号	シンポジウム(8月7日)「義勇軍体験の継承」	広報誌	インフォメーション
	市報千曲 7月号	特別親子映画会(8月1日)アニメ「蒼い記憶ー満蒙開拓と少年たちー」	広報誌	インフォメーション
	毎日新聞	夏季企画展「青少年義勇軍が見た満州ー創られた大陸の夢」	新聞	情報バレット
	2021年度夏季高校野球長野大会冊子	令和3年度夏季企画展「青少年義勇軍が見た満州ー創られた大陸」	冊子	有料広告
	なかの情報NEXT 8月号	県立歴史館夏季企画展「青少年義勇軍が見た満州ー創られた大陸の夢」	フリーペーパー	イベント情報
	読売新聞	「青少年義勇軍が見た満州ー創られた大陸の夢」	新聞	県内美術館・博物館情報
	朝日新聞	「青少年義勇軍が見た満州ー創られた大陸の夢」	新聞	インフォメーション
	信濃毎日新聞	「青少年義勇軍が見た満州ー創られた大陸の夢」	新聞	有料広告
	屋代有線放送	歴史館で夏休みのご案内	有線放送	イベント案内
	信濃毎日新聞	特別企画展「縄文土器から弥生土器 土器でくらしの違いを知ろう」(共催)	新聞	週間ガイド
	信濃毎日新聞	企画展「青少年義勇軍が見た満州ー創られた大陸の夢」	新聞	週間ガイド
	信濃毎日新聞	親子で知ろう!考えよう!夏休み平和学習会(7月24日)	新聞	週間ガイド
8月	博物館研究 8月号	「青少年義勇軍が見た満州ー創られた大陸の夢」	日博協 冊子	展覧会(歴史)一覧
	朝日新聞	「青少年義勇軍が見た満州ー創られた大陸」	新聞	有料広告
	市報千曲 8月号	考古学講座(8月28日)「地震と洪水の痕跡」	広報誌	インフォメーション
	朝日新聞	「青少年義勇軍が見た満州ー創られた大陸」	新聞	有料広告
	中日新聞	「青少年義勇軍が見た満州ー創られた大陸」	新聞	有料広告
	八十二文化財団広報紙	令和3年度秋季企画展「全盛期の縄文土器ー圧倒する褶曲文ー」	広報紙	美術館・博物館での催し
	朝日新聞	「青少年義勇軍が見た満州ー創られた大陸」	新聞	有料広告
	中日新聞	「青少年義勇軍が見た満州ー創られた大陸」	新聞	有料広告
	朝日新聞	「青少年義勇軍が見た満州ー創られた大陸」	新聞	有料広告
	中日新聞	「青少年義勇軍が見た満州ー創られた大陸」	新聞	有料広告
	博物館研究 9月号	「全盛期の縄文土器ー圧倒する褶曲文ー」	日博協 冊子	展覧会(歴史)一覧
9月	信濃毎日新聞	考古学講座(8月28日)「地震と洪水の痕跡」	新聞	週間ガイド
	読売新聞	諏訪湖周辺における稲作文化の形成ー縄文から弥生時代へー	新聞	イベントガイド
	市報千曲 9月号	県立歴史館秋季企画展「全盛期の縄文土器ー圧倒する褶曲文ー」	広報誌	インフォメーション
	市報千曲 9月号	講演会(9月26日)「4900年前の大変動:地域集団の再編」	広報誌	インフォメーション
	道の駅 vol.37 秋号	令和3年度秋季企画展「全盛期の縄文土器ー圧倒する褶曲文ー」	フリーペーパー	有料広告
	毎日新聞	企画展「全盛期の縄文土器 圧倒する褶曲文」	新聞	情報バレット
	読売新聞	令和3年度秋季企画展「全盛期の縄文土器ー圧倒する褶曲文ー」	新聞	有料広告
	朝日新聞	令和3年度秋季企画展「全盛期の縄文土器ー圧倒する褶曲文ー」	新聞	有料広告
	なかの情報NEXT 10月号	長野県立歴史館秋季企画展「全盛期の縄文土器ー圧倒する褶曲文ー」	フリーペーパー	イベント情報
	なかの情報NEXT 10月号	長野県立歴史館講演会「4900年前の大変動:地域集団の再編」	フリーペーパー	イベント情報
	広報たかやま 9.15	歴史民俗資料館資料を長野県立歴史館へ貸出します(高山村湯倉洞窟遺跡)	広報紙	常設展関連
10月	博物館研究 10月号	「全盛期の縄文土器ー圧倒する褶曲文ー」	日博協 冊子	展覧会(歴史)一覧
	朝日新聞	令和3年度秋季企画展「全盛期の縄文土器ー圧倒する褶曲文ー」	新聞	有料広告
10月	My 舍人倶楽部 36	令和3年度秋季企画展「全盛期の縄文土器ー圧倒する褶曲文ー」	フリーペーパー	展覧会情報
	読売新聞	令和3年度秋季企画展 全盛期の縄文土器ー圧倒する褶曲文ー	新聞	県内美術館・博物館情報

	ケーブルネット千曲 10 月 ケーブルネット千曲 10 月 ケーブルネット千曲 10 月 信濃毎日新聞 館報おたり 読売新聞 博物館研究 11 月号	県立歴史館考古学講座「環境と暮らし」② 県立歴史館信州学講座②伝えられなかった災害 県立歴史館信州学講座③近くて遠い人と水 長野県立歴史館 presents「信州を学ぶ」シリーズ全3巻 好評発売中 長野県立歴史館との共催～弥生時代とクニの始まり～ 令和3年度秋季企画展 全盛期の縄文土器―圧倒する縄曲文― 「全盛期の縄文土器―圧倒する縄曲文―」	広報紙 広報紙 広報紙 新聞 広報紙 新聞 日博協 冊子	番組紹介 番組紹介 番組紹介 広告 県内美術館・博物館情報 展覧会(歴史)一覧
11 月	市報千曲 11 月号 市報千曲 11 月号 中日新聞 信濃毎日新聞 中日新聞 読売新聞 信濃毎日新聞 夕刊 中日新聞 中日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 読売新聞	考古学講座(11月20日)「災害と時代の変化～浅間火山～」 縄文風クリスマスリースを作ろう！(11月28日) 松本市主催「史跡小笠原氏城跡の将来を考える」(特別館長の対談) 全盛期の縄文土器 圧倒する縄曲文 令和3年度秋季企画展「全盛期の縄文土器―圧倒する縄曲文―」 令和3年度秋季企画展 全盛期の縄文土器―圧倒する縄曲文― 「戦国時代は何を残したか」笹本正治 令和3年度秋季企画展「全盛期の縄文土器―圧倒する縄曲文―」 令和3年度秋季企画展「全盛期の縄文土器―圧倒する縄曲文―」 縄文風クリスマスリースを作ろう！ 県立歴史館・KOA の日 県立歴史館・KOA の日	広報誌 広報誌 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞	インフォメーション インフォメーション 情報ひろば 週間ガイド 有料広告 県内美術館・博物館情報 信毎出版部広告 有料広告 有料広告 週間ガイド 週間ガイド イベントガイド
12 月	信濃毎日新聞 博物館研究 1 月号	近世史セミナー「感染症と向き合う」 「没後80年 郷愁の画家 丸山晩霞―師友とその時代」	新聞 日博協 冊子	週間ガイド 展覧会(歴史)一覧
1 月	市報千曲 1 月号 市報千曲 1 月号 市報千曲 1 月号 市報千曲 1 月号 信濃毎日新聞 毎日新聞 朝日新聞 なかの情報NEXT 2 月号 なかの情報NEXT 2 月号 なかの情報NEXT 2 月号 博物館研究 2 月号 信濃毎日新聞	県立歴史館冬季企画展「没後80年 郷愁の画家 丸山晩霞―師友とその時代」 講演会(1月29日)「丸山晩霞の立志―あこがれの地、アメリカ、ヨーロッパへ」 講座(2月5日)「水彩画家・丸山晩霞の生涯と芸術」 信州学講座(1月22日)「遺跡が語る比類なき信州」 冬季企画展「没後80年 郷愁の画家 丸山晩霞―師友とその時代」 冬季企画展「没後80年 郷愁の画家 丸山晩霞―師友とその時代」 小野のシダレグリ自生地 パネル展 没後80年 郷愁の画家 丸山晩霞 師友とその時代 講演会「丸山晩霞の立志―あこがれの地、アメリカ、ヨーロッパへ」 講座「水彩画家・丸山晩霞の生涯と芸術」 「没後80年 郷愁の画家 丸山晩霞―師友とその時代」 没後80年 郷愁の画家 丸山晩霞 師友とその時代	広報誌 広報誌 広報誌 広報誌 新聞 新聞 新聞 フリーペーパー フリーペーパー フリーペーパー 日博協 冊子 新聞	インフォメーション インフォメーション インフォメーション インフォメーション 火曜アート・展覧会県内 情報ぶれっと インフォメーション イベント情報 イベント情報 イベント情報 展覧会(歴史)一覧 週間ガイド
2 月	信濃毎日新聞 ケーブルネット千曲 2 月 朝日新聞 中日新聞 中日新聞 読売新聞 信濃毎日新聞 中日新聞	冬季企画展「没後80年 郷愁の画家 丸山晩霞―師友とその時代」 長野県立歴史館考古学講座「災害と時代の変化～浅間山火山～」 郷愁の画家 丸山晩霞―師友とその時代 没後80年 郷愁の画家 丸山晩霞―師友とその時代 没後80年 郷愁の画家 丸山晩霞―師友とその時代 没後80年 郷愁の画家 丸山晩霞―師友とその時代 没後80年 郷愁の画家 丸山晩霞―師友とその時代 没後80年 郷愁の画家 丸山晩霞―師友とその時代	新聞 広報紙 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞	展覧会(県内)情報 番組紹介 インフォメーション 有料広告 有料広告 県内美術館・博物館情報 上田・下田 番組紹介 有料広告

3月	道の駅 vol. 39 春号 毎日新聞 読売新聞	2022 年所蔵品展 至宝の名品—学芸員のイチオシ 考古資料編— 所蔵品展「至宝の名品」学芸員のイチオシ考古資料編 注目の展覧会「2022 年所蔵品展 至宝の名品—学芸員のイチオシ 考古資料編」	フリーペーパー 新聞 新聞	有料広告 有料広告 県内美術館・博物館
----	--------------------------------	---	---------------------	---------------------------

2 記事・報道

当館に関する主な記事・番組等は以下のとおりである。ケーブルテレビ局と有線放送局作成番組については、提携各局において随時放送されている。テレビ・ラジオ局によるニュース報道については含まれていない。

月	掲載・掲示	タイトル	規格	備考
4月	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 読売新聞 信濃毎日新聞 屋代有線放送 屋代有線放送 屋代有線放送	武士の心意気伝わる「平家物語図屏風」 注文主や絵師のこだわり 佐久の「大井法華堂」文書 4405 点を目録に 百万塔と陀羅尼經 鎮護国家の願い込めて 溪斎英泉「岐阻街道奈良井宿名産店之図」天保年間 浮世絵風景画の傑作 戦地で生きた開拓少年 遺族らから資料後世に 県立歴史館 今夏企画展 諸国名所百景にも登場 善光寺北方の薬山 橋を渡って参詣 スリル満点 春季展「県立歴史館の名品 絵画・工芸を中心に」展示解説 イベント開催のご案内 5/5「歴史館で子どもの日」について 今年度の講座「県立歴史館の信州学講座」について	コラム 記事 コラム コラム 記事 コラム 有線放送 有線放送 有線放送	所蔵品展関連 所蔵品展関連 所蔵品展関連 夏季企画展関連 所蔵品展関連 所蔵品展関連 イベント案内 講座案内
5月	信濃毎日新聞 屋代有線放送 信濃毎日新聞 TSBテレビ信州 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 教育指導時報 no. 861	入京場面で終わる「木曾義仲合戦図屏風」 「英雄」として描く構成か 歴史館へようこそ 春季展「至宝の名品」後期展示解説① 「浦島編起絵巻」を読み解く 翁から鶴に変身「神」となる 「ゆうがたGet!」で屋代遺跡群出土木簡や木器の保存処理を紹介 武家風俗画「笠懸犬追物図屏風」華やかな儀式 教材の意味も 渡来人が伝えた農耕文化 共同体育む 2000 年前 信州に二つの地域圏 令和 3 年度 長野県立歴史館 事業紹介	コラム 有線放送 コラム テレビ放映 コラム コラム 記事	所蔵品展関連 所蔵品展関連 所蔵品展関連 所蔵品展関連 考古学講座 事業紹介
6月	信濃毎日新聞 屋代有線放送 市民タイムス 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 中日新聞 信濃毎日新聞 SBC 信越放送 信濃毎日新聞	明治三陸地震津波と中村不折 垣間見える災害報道の舞台裏 歴史館へようこそ 所蔵品展「至宝の名品」展示解説③ 弥生時代土器から知る 木曾 県立歴史館の所蔵品展示 「信州飯山城之図」を読み解く 壮大な構え 江戸初期の飯山城 満蒙開拓青少年義勇軍 少年たちはなぜ満州へ 来月 10 日から企画展 弥生時代にドキドキしよう 木曾で県立歴史館所蔵品展 2000 年以上に及ぶ 千曲川との悪戦苦闘 治水と利水 縄文以来の知恵 「ずくだせテレビ」で“千曲市地之目遺跡”（千曲市から借用、常設展示）を紹介 信州の機械り機の転換 江戸後期 地機から高機へ	コラム 有線放送 記事 コラム 記事 記事 コラム テレビ放映 コラム	信州学講座 所蔵品展関連 前年度秋季展関連 所蔵品展関連 夏季企画展関連 前年度秋季展関連 信州学講座 常設展関連 常設展関連
7月	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 NHK長野放送局 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 週刊長野 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	石の矢じり 形や材質の変化 縄文人生き抜く努力の跡 満州への「青少年義勇軍」募集 「割当表」作り市町村に圧力 イブニング信州 少年義勇軍が見た満州 40 回目「小諸市民大学」16 日から「人の営みと道」講師 義勇軍から見る満蒙開拓は 県立歴史館きょうから企画展 県立歴史館が企画展 青少年義勇軍が見た満州 きょうから「平和を考えて」 「満蒙開拓義勇軍」展始まる 「憧れ誘った空気感」 「監的壕」か 小海で発見 県内初確認の可能性 軍を補完 満蒙開拓義勇軍の少年たち 国策の最前線 教師も志願呼びかけ	コラム コラム テレビ放映 記事 記事 記事 記事 記事 記事 コラム	考古学講座 夏季企画展関連 夏季企画展 07 セレモニー 考古資料課講師 夏季企画展関連 夏季企画展関連 夏季企画展関連 夏季企画展関連 コメント 夏季企画展関連

	信濃毎日新聞 朝日新聞 中日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 屋代有線放送 FM ぜんこうじ FM ぜんこうじ	「不都合な史実」満蒙開拓の継承 被害と加害両面に向き合って 満蒙開拓 青少年の苦難の軌跡 県立歴史館で企画展 写真や軍服 150 点 木曾義昌 家臣に宛てた命令書 大桑・池口寺で確認 木曾義昌 松本奪還に執念? 戦国時代に福島城主 大桑で書状発見 満蒙開拓義勇軍 茨城の内原訓藏所 国への忠誠心少年に植え付ける 夏季企画展「青少年義勇軍が見た満州」展示解説① 夏季企画展「青少年義勇軍が見た満州―創られた大陸の夢」 夏季企画展「青少年義勇軍が見た満州―創られた大陸の夢」	コラム 記事 記事 記事 コラム 有線放送 ラジオ ラジオスポットCM	夏季企画展関連 夏季企画展関連 新奇贈史料 新奇贈史料 夏季企画展関連 夏季企画展関連 夏季企画展関連 7/8~7/17
8月	信濃毎日新聞 長野日報 信濃毎日新聞 朝日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 NBS長野放送 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 読売新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 屋代有線放送	満蒙開拓義勇軍の情操教育 ラッパ・尺八 鼓舞や精神の糧に 長谷出土の県宝も 長谷公民館 縄文や弥生土器展示 「不都合な史実」語り継ぐ必要 旧満州の青少年義勇軍 県立歴史館でシンポ 開拓団の「加害」伝える意義語る 旧満州巡るシンポ 少年と満州 県立歴史館の企画展から① 遊びを通して夢抱かせる 少年と満州 県立歴史館の企画展から② 義勇軍送り出し「困難」も 遺跡に残る洪水・噴火・地震の痕跡 災害と人類 関わり探る端緒 少年と満州 県立歴史館の企画展から③ 幼さ残る笑顔の裏では NBSみんなの信州 14歳の満州 少年と満州 県立歴史館の企画展から④ 「大陸の花嫁」女性を動員 少年と満州 県立歴史館の企画展から⑤ 抑留生活 癒やし求めて 満蒙開拓の史実 今に 県立歴史館で企画展 終戦記念日 山城歩きウェブサイト 歴史や地図7ヵ所を掲載 「ミナゲンキデスカ」旧ソ連からの葉書 抑留中の隊員 うかがえる思い 演奏を聴く方法変えた蓄音機 好きな時に好きな曲可能に 夏季企画展「青少年義勇軍が見た満州」展示解説②	コラム 記事 記事 記事 記事 記事 コラム 記事 テレビ放映 記事 記事 記事 記事 コラム コラム 有線放送	夏季企画展関連 共催展 夏季企画展関連 夏季企画展関連 夏季企画展関連 夏季企画展関連 考古学講座 夏季企画展関連 夏季企画展関連 夏季企画展関連 夏季企画展関連 所蔵鳥瞰図 夏季企画展関連 常設展関連 夏季企画展関連
9月	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 週刊長野 信濃毎日新聞 FM ぜんこうじ FM ぜんこうじ 屋代有線放送	洪水で埋もれた古代の人々の痕跡 災害と隣り合わせの日常 学びに 茅野市棚田遺跡出土の縄文土器 中期後葉「粘土紐装飾の極致」 「全盛期の縄文土器」展 文様が現すものは 縄文中期の水煙文土器、華麗な装飾 全盛期の縄文土器 100 点以上展示 きょうから県立歴史館 箱状突起より奇抜に複雑に 制作技術の向上 背景に 秋季企画展「全盛期の縄文土器―圧倒する槽曲文―」 秋季企画展「全盛期の縄文土器―圧倒する槽曲文―」 秋季企画展「全盛期の縄文土器」展示解説①	コラム コラム コラム 記事 記事 コラム ラジオ ラジオスポットCM 有線放送	常設展関連 秋季企画展関連 秋季企画展関連 秋季企画展関連 秋季企画展関連 秋季企画展関連 秋季企画展関連 9/13~9/22 秋季企画展関連
10月	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 屋代有線放送	縄文人にとってのヘビ・カエル 「畏れ」や「敬い」の対象か 水煙文土器 文様に各地の流儀 集団間の関係探る手掛かり 60 年ぶりの「新」栄村誌 来年1月発行へ予約開始 未知の古文書を読む楽しみ 江戸時代 岩村田にラクダ 複雑な形の装飾 火焰型縄文土器 用途は? お焦げや変色から探る 偏光顕微鏡で見る縄文土器 キラキラまるで万華鏡 秋季企画展「全盛期の縄文土器」展示解説②	コラム コラム 記事 コラム コラム コラム 有線放送	秋季企画展関連 秋季企画展関連 寄贈史料 秋季企画展関連 秋季企画展関連 秋季企画展関連 秋季企画展関連

11月	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 屋代有線放送	浅間山の火山灰が指標に 噴火災害乗り越えた歴史 須坂市、県立歴史館と協定 21日市民の入館を無料に 出土した土器の修復 強化処理と復元 九つの工程 公文書の管理規定案了承 県審議会 来年4月以降運用へ 歴史館に移管・管理 縄文土器の「渦巻き」なぜ? 繁栄への願い映したか 浅間山と共存 生活の跡探る 県立歴史館が考古学講座 古代から中世へ 移行する姿 人知れぬ遺跡にも凝縮 秋季企画展「全盛期の縄文土器」展示解説③	コラム 記事 コラム 記事 コラム 記事 コラム 有線放送	考古学講座関連 連携協定 秋季企画展関連 秋季企画展関連 考古学講座 考古学講座関連 秋季企画展関連
12月	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 屋代有線放送 屋代有線放送 屋代有線放送 屋代有線放送 屋代有線放送	江戸時代のはやりやまい 予防への努力 チラシにも 印章で支配進めた武将たち 花押との使い分けに個性 高山村の湯倉洞窟遺跡 30年かけ最下層まで調査 歴史資料住民が守り継ぐ 新「県史」機運/公文書管理に課題も 旧石器時代から信州を概観 豊かな風土が育んだ遺跡 災害発生した日カレンダーで知って 県と県立歴史館作成 信州学講座プレミニ講座「遺跡が語る比類なき風土」① 信州学講座プレミニ講座「遺跡が語る比類なき風土」② 信州学講座プレミニ講座「遺跡が語る比類なき風土」③ 信州学講座プレミニ講座「遺跡が語る比類なき風土」④ 信州学講座プレミニ講座「遺跡が語る比類なき風土」⑤	コラム コラム コラム 記事 コラム 記事 有線放送 有線放送 有線放送 有線放送 有線放送	近世史セミナー 常設展関係 常設展関係 夏季展、公文書関連 信州学講座 災害伝承カレンダー 講座案内 講座案内 講座案内 講座案内 講座案内
1月	ちくま未来新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 週刊長野 読売新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 読売新聞 屋代有線放送 屋代有線放送	長野県立歴史館 クリスマスリース作製イベント(11月28日) 寅年の始めは虎の魂で 「百獣の王」の力で良い年に 東御生まれ「郷愁の画家」丸山晩霞 時空超え懐かしさ呼び起こす 県立歴史館で冬季企画展 この100年間に思いはせ 島崎藤村と丸山晩霞の交流 文学と絵画 影響与え合う 信州の農村描いた画家 丸山晩霞の生涯と作品 県立歴史館で企画展 「没後80年 郷愁の画家丸山晩霞」展 日本の水彩画 米で評価 若徳の史跡知って 説明板設置 長野地元住民の研究会が手作業で 身近に触れる日本史的一幕 源頼朝ゆかりの里山 裾花凝灰岩由来の白土 素材に 「松代族」歴史学ひ未来へ 「没後80年 郷愁の画家丸山晩霞」展 時超え 懐かしさ届ける 信州学講座プレミニ講座「青緑色のぬくもりを未来へ」 冬季企画展「郷愁の画家 丸山晩霞」見どころ解説①	記事 コラム コラム 記事 コラム 記事 コラム 記事 記事 コラム コラム 有線放送 有線放送	記事 コラム コラム 記事 コラム 記事 コラム 記事 記事 コラム コラム 講座案内 冬季企画展関連
2月	信濃毎日新聞 NHK長野放送局 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 屋代有線放送 屋代有線放送	山岳風景画は明治期から 先駆けとなった丸山晩霞 イブニング信州 郷愁の画家 丸山晩霞展 丸山晩霞の写生地を探る 人の営みで変わりゆく景観 SONYの成長と信州 製糸王国の技術力が貢献 明治の絵はかき流行と水彩画 丸山晩霞の原画 人気高く 善光寺門前に残る源頼朝ゆかりの寺院 長野市の十念寺と観音寺 豊かな自然や地形・県北部地震と復興 栄村誌完成 全世界に配布 「川中島」戦費 負担求めた信玄 北信濃の家臣宛て 県立歴史館が書状入手 冬季企画展「郷愁の画家 丸山晩霞」見どころ解説② 信州学講座プレミニ講座「ものづくりの進化は続く」	コラム テレビ放映 コラム コラム コラム 記事 記事 記事 有線放送 有線放送	冬季企画展関連 冬季企画展関連 冬季企画展関連 冬季企画展関連 わがまちの歴史を伝える 特別館長監修 冬季企画展関連 講座案内
3月	信濃毎日新聞 中日新聞	県出身・雷電も発展支えた相模 姿・意義を変えながら継承 「平家物語の義仲」4コマ漫画冊子に 木曾町が広報誌連載まとめる	コラム 記事	常設展関連 文献史料課長監修

信濃毎日新聞	上田・陣馬塚古墳で出土の刀 ヤマト王権からの下賜か	コラム	所蔵品展関連
信濃毎日新聞	学会員心込めて所蔵品紹介 県立歴史館で「イチオシ」展	記事	所蔵品展関連
信濃毎日新聞	石川糸里遺跡から出土の鍬形 災い鎮める祭祀の「鎮物」か 歴史館で公開	記事	共催 埋文速報展
週刊長野	至宝の名品 考古資料編 きょうから県立歴史館	記事	所蔵品展関連
週刊うえだ	至宝の名品 学会員のイチオシ考古資料編 速報展も開催	記事	所蔵品展関連
信濃毎日新聞	生涯貫いた地域史研究への思い 小松芳郎さんを悼む	記事	
屋代有線放送	所蔵品展「至宝の名品—学会員のイチオシ考古資料編—」解説①	有線放送	所蔵品展関連
信濃毎日新聞	下茂内遺跡の「接合資料」石槍の製法知る手掛かり	コラム	所蔵品展関連
NHK長野放送局	イブニング信州 所蔵品展 学会員のイチオシ考古資料編	テレビ放映	所蔵品展関連
毎日新聞	支局長だより いにしへの生活に思いはせ	記事	所蔵品展関連

一 資料一

I 資料利用

(点)

資料利用	展示資料 (復元・模型等)	考古資料 (一括資料も1点)	文献史料 (文書・絵図等)	全件数
貸出	2	12	4	18
掲載	45	26	64	135
複製(資料・写真)	1	0	2	3

(2022年3月31日現在)

II 閲覧利用・情報利用

月	閲覧者数 右=1日平均		閲覧者数の内訳							複写 件数	撮影 件数	レファレン ス件数	HP アク セス数	図書受 入登録 数	その他の 資料受入 登録数
			図 書	歴史 情報	映像 情報	行政 文書	古文書	考古 資料	その他						
4	118	8	97	11	0	5	2	0	3	39	17	26	6,291	40	219
5	225	9	175	19	0	17	9	5	0	77	203	28	7,511	39	90
6	208	8	143	22	0	15	13	2	13	87	246	36	7,910	60	101
7	446	17	375	36	0	11	13	4	7	97	81	35	8,874	19	74
8	308	24	263	13	0	7	12	0	13	50	101	17	9,434	83	55
9	202	14	146	25	0	8	10	0	13	34	128	24	9,167	70	43
10	329	12	237	31	0	26	14	2	19	136	225	39	8,413	55	69
11	374	16	310	24	0	9	14	2	15	97	115	33	8,597	60	88
12	135	6	70	20	0	22	13	5	5	65	104	17	6,259	50	62
1	74	7	45	4	0	11	9	1	4	39	36	22	7,818	102	124
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	30	7	6,749	21	225
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	20	11	7,062	98	183
計	2419	12	1861	205	0	131	109	21	92	726	1306	295	94,085	697	1333

III 利用者

令和3年度利用者

月	常設展示室		企画展示室		講演会・講座等		閲覧室		出前講座		地域展		利用者 計
	観覧者 数	日数	観覧者 数	日数	受講者 等数	日数	観覧者 数	日数	受講者 数	日数	観覧者 数	延べ 日数	
4	1,626	25	1,400	25	753	25	118	14	119	4	0	0	4,016
5	2,797	26	2,453	26	703	12	225	26	172	4	730	43	7,080
6	4,222	26	1,737	12	294	10	208	26	104	3	527	61	7,092
7	2,808	27	2,429	27	520	16	446	27	126	6	11,468	53	17,797
8	2,010	26	2,429	19	524	10	308	13	12	1	1,893	126	7,176
9	1,106	16	1,405	10	61	3	202	14	194	4	1,456	41	4,424
10	3,227	27	3,469	27	299	14	329	27	185	7	178	14	7,687
11	3,934	23	3,688	18	721	14	374	23	395	6	801	58	9,913
12	1,360	23	0	0	139	5	135	23	108	3	3,650	21	5,392
1	554	24	690	14	62	4	74	11	0	0	0	0	1,380
2	905	23	1,681	23	11	1	0	0	0	0	3,692	66	6,289
3	1,282	23	781	11	656	11	0	0	96	2	0	0	2,815
計	25,831	289	22,162	212	4,743	125	2,419	204	1,511	40	24,395	483	81,061

入館者数等推移

区分 年度	常設展示室	企画展示室	講演講座等 (出前講座含)	閲覧室	合計
平成6年度	50,375	34,685	1,033	6,797	92,890
7年度	99,478	23,470	3,086	11,887	137,921
8年度	74,438	21,029	2,299	10,466	108,232
9年度	59,968	15,585	3,133	8,067	86,753
10年度	53,651	32,586	3,608	8,362	98,207
11年度	53,814	30,392	3,617	8,461	96,284
12年度	47,604	25,781	3,540	9,355	86,280
13年度	46,303	34,352	4,346	7,573	92,574
14年度	45,106	33,887	6,384	7,566	92,943
15年度	43,813	33,400	12,952	7,070	97,235
16年度	43,889	32,797	12,429	6,287	95,402
17年度	44,855	33,585	12,263	8,232	98,935
18年度	46,362	37,866	14,360	13,642	112,230
19年度	46,874	42,691	15,217	12,454	117,236
20年度	41,790	32,316	13,089	10,815	98,010
21年度	41,089	32,507	14,774	10,002	98,372
22年度	40,839	29,969	12,175	9,916	92,899
23年度	43,383	33,676	11,057	6,118	94,234
24年度	42,154	37,674	11,953	7,201	98,982
25年度	39,323	32,603	13,091	7,205	92,222
26年度	39,897	34,614	21,004	7,855	103,370
27年度	41,609	31,886	24,536	6,963	104,994
28年度	44,673	32,199	31,424	4,094	112,390
29年度	40,765	25,780	32,263	4,244	103,052
30年度	40,002	26,848	30,743	3,731	101,324
令和元年度	54,247	40,950	23,095	4,024	122,316
令和2年度	21,764	16,127	3,364	2,523	43,778
令和3年度	25,831	22,162	30,649	2,419	81,061
合計	1,313,896	861,417	371,484	213,329	2,760,126

※常設展示室は巡回展の人数を含む。

企画展等入館者数

夏企=企画展

春季=季節展

区分 年度	名 称	期 日	入館者数
平成6年度 企画展	開館記念 赤い土器のクニ	11/3～12/11 38日	29,848
平成7年度 夏企	絵図にみる信濃 -江戸時代の村や町-	7/15～8/20 32日	7,095
秋企	信濃における戦国争乱の世界	10/21～11/26 30日	10,873
平成8年度 夏企	縄文人の一生 -北村遺跡に生きた人々-	7/20～8/25 32日	8,228
秋企	木簡が語る古代の信濃 -掘り出された地方行政とくらし-	10/5～11/10 31日	8,450
平成9年度 夏企	殖産興業と万国博覧会-明治期における長野県の世界の交流-	7/19～8/24 32日	5,538
秋企	長野県にみる世界の文化 -シルクの歴史と文化-	10/12～11/16 31日	7,011
館蔵品展	平成9年度新指定の県宝をみよう	1/31～3/1 29日	1,174
平成10年度 特別展示	屋代木簡展	6/5～6/20 14日	-
夏企	古代シナノの武器と馬具 -古墳時代の武人のすがた-	7/18～8/23 32日	5,950
秋企	諏訪信仰の祭りと文化	10/17～11/23 33日	7,912

平成11年度 館蔵品展	館蔵品展	4/4~5/9	33日	9,866
夏企	信濃名宝展 一鎌倉時代の文化財一	10/17~11/23	33日	7,458
秋企	蘭学万華鏡 一江戸時代 信濃の科学技術一	7/16~8/22	38日	7,321
考古資料特別公開	躍動する縄文土器 一新指定重要文化財御代田町川原田遺跡出土品とその周辺一	1/15~2/27	38日	3,719
平成12年度 夏企	千曲川歴史紀行 一同に生きた人びとの記録一	10/9~11/14	32日	4,443
秋企	歴史の宝庫 秋葉みち 一信濃古道をたどる一	7/22~8/27	32日	7,807
長野県の20世紀展	信州に生きた20世紀の女たち	12/12~1/28	36日	2,117
平成13年度 館蔵品展	屏風の世界	5/29~7/1	30日	5,096
夏企	阿久遺跡と縄文人の世界	7/20~9/2	40日	4,935
秋企	文人墨客がつどう 一19世紀北信濃の文芸ネットワーク一	10/2~11/11	36日	9,332
特別展示	雛人形と雛道具『天下の糸平』田中家コレクション	1/26~3/3	32日	3,431
平成14年度テーマ	北村縄文人の時代 一仮面土偶をつくった人びと一	5/25~6/30	32日	7,671
夏企	世界と地域を見つめた長野県教育 一信山育材一	7/20~9/1	39日	3,113
秋企	開設四百年 中山道 一信濃二十六宿と問宿一	10/5~11/17	38日	9,318
特別公開	雛人形と雛道具 一田中平八コレクションと北信濃の雛人形一	1/25~3/2	31日	3,545
平成15年度 テーマ	おらが善光寺さん 一秘仏の寺ものがたり一	5/16~6/22	33日	6,579
夏企	SOSふるさとの文化財をすくえー伝えたい古人の心と技一	7/15~8/24	36日	4,287
原爆展	ヒロシマ・ナガサキ原爆展ー風化させてはならない歴史ー	9/27~10/26	26日	-
秋企	もみじ 夕焼け 里の秋 一唱歌・童謡のふるさと信州一	9/27~11/9	38日	9,426
特別公開	重要文化財神子柴遺跡の石器群 一石器時代の槍と斧一	1/10~2/29	43日	3,944
特別公開	雛人形と雛道具 一子どもの祝い一	1/10~2/29	43日	3,944
平成16年度 春季	神がみへの願い 人びとの祈り 一古代のまつり一	5/22~6/27	32日	4,386
夏季	善光寺道 一街道を行き来した人・物・文化一	7/17~8/29	38日	4,860
秋季	中世信濃武士意外伝 一義仲から幸村まで一	10/2~11/14	38日	10,543
新春特別公開	新春屏風絵図展	1/1~1/16	14日	462
冬季	天下の糸平 一横浜を目指した信州の生糸商人たち一	1/29~3/6	32日	2,954
平成17年度特別展	里帰りした赤羽刀 一GHQ接收刀の輝き一	5/21~6/26	37日	4,057
夏企	地下4mの縄文伝説ー屋代遺跡群 愛と出会いの4千年一	7/16~9/4	45日	5,012
秋企	信州舞台物語ー団十郎も須磨寺もやってきた一	10/1~11/13	38日	8,877
特別公開	六角木幢 極楽浄土への道しるべ	11/19~1/15	42日	2,867
特別公開	雛人形と雛道具 一身だしなみとよそおい一	1/28~3/5	32日	3,498
平成18年度 春季	古瓦からみた信濃の古代ー神保町・米山一政府資料を中心にー	5/19~6/25	33日	6,979
夏企	幕末の信州 一時代を駆けた草莽たち一	7/22~8/27	32日	4,212
秋企	戦時下の子どもたち 一信州の一五年戦争一	9/30~11/12	33日	10,004
冬季	信州の歴史遺産Ⅰ 一新指定長野県宝と歴史館のお宝一	11/25~1/8	35日	2,434
平成19年度 春季	埋もれていた信州遺産の発見ー長野県歴史文化財センター25年の歩みからー	5/19~7/1	38日	5,962
夏季	絵地図の魅力 一わたしの城下町一	7/21~8/19	27日	3,374
文巡回展	発掘された日本列島 一新発見考古速報展一	9/1~9/30	26日	5,906
秋企	武田・上杉・信濃武士【前期】	10/13~11/18	32日	9,084
秋企	武田・上杉・信濃武士【後期】	12/8~1/14	28日	3,143
冬季	信濃の人形 一雛人形と郷土の人形一	1/26~3/2	32日	2,362
平成20年度 春季	うつわは語る 一縄文から近世まで一	5/24~6/29	32日	5,426
夏企	大庄屋って何？安曇郡・清水家文書の350年	7/19~8/24	33日	2,625
秋企	よみがえる氷河時代の狩人	9/25~11/24	53日	11,145
冬季	信州の歴史遺産Ⅱ 一長野県宝と歴史館のお宝一	12/13~3/1	61日	3,020
平成21年度 春企	善光寺信仰ー流転と遍歴の動化一	4/11~6/7	51日	11,776
夏季	信州 知の遺産の系譜 一歴史を記録した先人たち一	8/1~9/6	32日	4,248
秋企	山を越え川に沿う 一信州弥生文化の確立一	9/26~11/23	50日	8,896
冬季	信州の歴史遺産Ⅲー諏訪地域の“いのり”と“まつり”一	12/12~2/28	60日	2,097

平成22年度 春企	ひめゆり 平和への祈り	5/29~7/11	38日	8,728
夏季	あの世への想いー日本人はどのように埋葬されてきたかー	7/31~8/29	26日	2,552
秋企	東の牛伏寺 西の若澤寺	9/18~11/7	42日	8,272
冬季	信州の歴史遺産Ⅳー文字のちからー	12/11~2/27	61日	2,741
平成23年度 春季	武士の家宝ーかたりつがれた御家の由緒ー	5/28~7/3	32日	8,901
夏企	激動を生きぬくー信濃武士市河氏の400年ー	7/23~9/4	39日	4,731
秋企	観光地の描き方ー浮世絵版画から観光パンフレットまー	9/23~11/13	44日	6,164
冬季	信州の歴史遺産Ⅴー郷土のお宝『重文・県宝』を見ようー	12/10~2/26	44日	3,302
小企画展	ありがとう屋代線	3/10~5/13	58日	-
平成24年度 春企	長野県の満洲移民ー三つの大日向をたどるー	5/26~7/16	45日	8,871
夏季	戦争と宣伝 阿智村ポスターが語る	7/28~9/2	33日	5,209
秋企	縄文土器展 前期展	9/15~11/4	44日	6,871
	〃 後期展	11/10~12/16	32日	2,669
冬季	愛娘の調度品ー姫君様の婚礼道具から雛人形までー	1/12~3/3	39日	3,668
平成25年度 夏企	信州の野球史	6/29~8/18	45日	4,608
	ー大正から昭和初期にかけて全国屈指の強さを誇った中等学校野球ー			
秋企	刃が語る信濃	9/14~11/4	45日	7,904
冬季	山国の水害ー戊の満水と善光寺地震ー	11/23~1/19	41日	2,573
館蔵品	戦前の観光信州	2/1~3/9	29日	1,130
速報展	長野県の遺跡発掘2014ー長野県埋蔵文化財センター速報展ー	3/21~6/1	65日	12,680
平成26年度				
館蔵品	歴史に煌めく日本の美	6/14~7/13	26日	4,794
夏季	山とともに生きるー「信州山の日」制定を記念してー	7/26~8/31	33日	4,592
速報展	長野県の遺跡発掘2014 (伊那会場)	7/19~8/24	31日	1,602
秋企	信濃武士の決断	9/27~11/9	38日	7,052
冬季	縄文土器展	11/29~2/1	45日	2,131
平成27年度 春企	山と海の廻廊をゆく	(4/1) ~5/17	42日	7,390
速報展	長野県の遺跡発掘2015	5/30~7/12	37日	8,332
夏企	長野県民の1945	7/25~9/15	45日	5,643
秋企	樹木と人の交渉史	10/9~11/29	49日	6,570
冬企	地図の明治維新	12/9~2/28	58日	2,838
巡回展	長野県の遺跡発掘2016	3/12~6/26	95日	18,438
平成28年度 夏企	夢をのせた信州の鉄道	7/9~8/28	45日	4,192
秋企	木曾の宝	9/17~11/27	61日	6,782
冬季	信濃国の城と城下町	12/17~2/26	55日	2,927
巡回展	長野県の遺跡発掘2017	3/18~ (3/31)	12日	973
平成29年度巡回展	長野県の遺跡発掘2017	4/1~6/25	75日	12,066
夏企	長野県誕生	7/8~8/28	46日	3,089
秋企	進化する縄文土器	9/16~11/26	61日	7,727
冬季	博物館の父は信州人	12/16~2/25	54日	2,292
巡回展	長野県の遺跡発掘2018	3/17~ (3/31)	12日	606
平成30年度巡回展	長野県の遺跡発掘2018	4/1~6/3	56日	8,485
夏企	君は河童を見たか!	6/16~7/29	38日	5,594
秋企	最古の信州ブランド黒曜石	9/15~11/25	62日	8,848
冬季	自然を見つめた田淵行雄	12/15~2/17	50日	3,063
巡回展	長野県の考古学2019	3/16~ (3/31)	13日	858
平成31年度巡回展	長野県の考古学2019	4/1~6/23	73日	12,117
夏季	長野県立歴史館の名品	7/6~8/18	39日	3,840
秋企	戦国 小笠原三代	9/7~10/14	33日	5,049

特別企画	土偶展 国宝土偶	10/26～11/10 16日	15,041
特別企画	土偶展 中部高地の土偶	11/23～2/2 57日	4,127
春期展	長野県の考古学2020	3/25～(3/31) 6日	240
令和2年度春季展	長野県の考古学2020	4/1～6/14 24日	642
夏企	地酒王国 信州	7/11～8/23 39日	2,646
秋企	稲作とクニの誕生 - 信州と北部九州 -	9/15～11/29 65日	9,519
冬企	洋画家・書家・コレクター 中村不折 - 伊那谷から世界へ	1/9～2/21 37日	2,432
所蔵品展	至宝の名品 - 学芸員のイチ押し 絵画工芸編 -	3/13～(3/31) 16日	888
令和3年度春季展	至宝の名品 - 学芸員のイチ押し 絵画工芸編 -	4/1～6/13 63日	5,590
夏企	青少年義勇軍が見た満州-創られた大陸の夢	7/10～8/22 38日	4,858
秋企	全盛期の縄文土器-圧倒する褶曲文-	9/18～11/23 55日	8,562
冬企	郷愁の画家 丸山晩霞 - 師友とその時代	1/15～2/27 37日	2,371
所蔵品展	至宝の名品 - 学芸員のイチオシ 考古資料編 -	3/19～(3/31) 11日	781

ミニ展示	「県歌 50 年」作詞家「浅井湧の書を見る」	965 人 26 日
ミニ展示	「信州の野球史 夏」	996 人 32 日
ミニ展示	「平成とともに歩んだ歴史館」(ポスター展)	1,121 人 50 日
ミニ展示	「掘るしん 2021」(長野県埋蔵文化財センター速報展)	774 人 6 日 (3/13～5/9 のうち 3/31 までの実績)
ミニ展示	「掘るしん 2022」(長野県埋蔵文化財センター速報展)	656 人 11 日 (3/19～6/12 のうち 3/31 までの実績)

IV 収蔵史資料数

区分 年度	展示資料 (件)	増加数 (件)	図 書 (冊)	増加数 (冊)	考古資料 (箱)	受入数 (箱)	文献史料 (点)	増加数 (点)
平成 6 年度	1,996		27,156		4,930		79,060	
7 年度	2,015	19	30,628	3,472	6,202	1,271	96,165	17,105
8 年度	2,034	19	34,470	3,842	7,259	1,057	109,711	13,546
9 年度	2,051	17	38,533	4,063	8,415	1,156	117,392	7,681
10 年度	2,107	56	44,888	6,355	9,886	1,471	122,944	5,552
11 年度	2,141	34	48,748	3,860	11,685	1,799	131,498	8,554
12 年度	2,156	15	59,590	10,842	14,724	3,039	136,191	4,693
13 年度	2,182	26	64,405	4,815	17,614	2,890	138,360	2,169
14 年度	2,197	15	69,306	4,901	19,982	2,368	148,562	10,202
15 年度	2,217	20	73,292	3,986	21,199	1,217	153,394	4,832
16 年度	2,238	21	77,364	4,072	23,302	2,103	155,339	1,945
17 年度	2,250	12	81,196	3,832	25,223	1,921	156,921	1,582
18 年度	2,264	14	85,133	3,937	25,655	1,571	160,595	3,674
19 年度	2,278	14	87,216	2,083	26,806	1,150	162,268	1,673
20 年度	2,282	4	95,555	8,339	27,309	503	163,135	867
21 年度	2,287	5	101,730	6,175	27,856	547	165,496	2,361
22 年度	2,293	6	103,577	1,847	27,974	118	168,485	2,989
23 年度	2,295	2	107,308	3,731	28,296	302	169,555	1,070
24 年度	2,296	1	111,124	3,816	28,707	971	172,318	2,763
25 年度	2,299	3	115,553	4,429	28,419	▲ 288	287,611	115,293
26 年度	2,301	2	119,736	4,183	29,204	785	291,848	4,237
27 年度	2,304	3	122,762	3,026	29,204	0	295,611	3,763
28 年度	2,308	4	125,628	2,866	29,204	0	281,897	▲ 13,714
29 年度	2,315	7	128,344	2,716	29,204	0	301,999	20,102
30 年度	2,320	5	132,036	3,692	29,204	0	311,453	9,454

令和元年度	2,328	8	134,573	2,537	29,222	18	346,729	35,276
2年度	2,333	5	145,306	10,733	29,222	0	365,011	18,282
3年度	2,418	85	147,336	2,030	29,222	0	379,745	14,734

※考古資料の総数は収納用箱数で計上しており、この他に箱収納していない資料に木製品がある。令和3年度時点で保存処理済(PEG処理)の点数は、32,767点があり、当館第2収蔵庫で収納している。

※平成28年度の文献史料総数は、重複分があったため修正した。

※図書の総数にはその他の資料受入登録数を含む。

6-1 誌一

- 4月27日(火) 所蔵品展「至宝の名品 絵画工芸編」陀羅尼特別公開(～5月9日)
- 5月5日(水) 歴史館でこどもの日
- 8日(土) 信州学講座① 笹本特別館長
- 9日(日) 長野県埋蔵文化財センター速報展「掘るしん2021」終了
- 19日(水) 北信越博物館協議会理事会(web)
- 20日(木) お出かけ歴史館 in 大鹿
- 21日(金) 長野県博物館協議会総会(安曇野市)
- 27日(木) 歴史館資料調査員会議
- 29日(土) 古文書講座上級①
- 6月5日(土) 古文書講座中級①
- 6日(日) 考古学セミナー(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止), 古文書講座中級A①
- 10日(木) 古文書講座初級B①・中級B①
- 13日(土) 信州学講座②
- 14日(日) 所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 絵画工芸編」終了
- 19日(土) 考古学講座①
- 24日(木) 長野県史料保存活用協議会総会・講習会①(上田市公文書館他)
- 26日(土) 古文書講座上級②
- 30日(水) 歴史館協議会
- 7月3日(土) 信州学講座②、古文書講座中級A②
- 4日(日) 古文書講座初級A②
- 9日(金) 夏季企画展「青少年義勇軍が見た満州」オープニングセレモニー
- 6日(土) 夏季企画展「青少年義勇軍が見た満州」開始
- 13日(火) 県総合教育センター研修
- 15日(木) 古文書講座初級B②・中級B②
- 17日(土) 考古学講座②
- 18日(日) 夏季企画展講演会
- 21日(水) 歴史館資料委員会
- 24日(土) 古文書講座上級③
- 25日(日) 夏季企画展連携イベント(県庁地域福祉課主催)
- 27日(火) 信州大学免許講習A
- 29日(木) 文化財レスキュー会議(県教委主催)
- 31日(土) 古文書講座中級A③
- 8月1日(日) 歴史館で夏休み、古文書講座初級A③
- 3日(火) 信州大学免許講習B
- 4日(水) ティーンズ古文書講座(～7日)
- 7日(土) 夏季企画展シンポジウム
- 8日(日) お出かけ歴史館 in 下條
- 19日(木) 古文書講座初級B③・中級B③
- 20日(金) 全県の感染警戒レベル5引上げに伴い、閲覧室閉鎖・閲覧業務停止
- 21日(土) 古文書講座序休④
- 22日(日) 夏季企画展「青少年義勇軍が見た満州」終了
- 26日(木) 博物館実習前期開始(～31日)
- 28日(土) 考古学講座③(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止),
- 9月1日(水) 博物館実習後期開始(～5日)
- 3日(金) 県の「命と暮らしを救う集中対策期間」対策に伴い臨時休館(～12日)
- 4日(土) 古文書講座中級A④対面講座中止、HPにて解説動画公開にて対応、
- 5日(日) 古文書講座初級B④対面講座中止、HPにて解説動画公開にて対応
- 9日(木) 古文書講座初級B・中級B④対面講座中止、HPにて解説動画公開にて対応、
- 11日(土) 信州学出前講座 in 飯山(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止),

- 12日(日) お出かけ歴史館 in 飯田上久堅(感染症拡大防止のため中止)
- 14日(火) 集中対策期間終了、全県感染レベル引下げに伴い開館、閲覧室再開
- 17日(金) 秋季企画展「全盛期の縄文土器」オープニングセレモニー
- 18日(土) 秋季企画展「全盛期の縄文土器」開始、古文書講座上級⑤
- 10月2日(土) 秋季企画展ミニトーク、古文書講座中級A⑤
- 3日(日) 古文書講座初級B⑤
- 7日(木) 古文書講座初級B・中級B⑤
- 9日(土) 遺跡探訪会(県境越える移動となるため中止)
- 14日(木) 古文書探訪会(佐久方面)
- 16日(土) 信州学出前講座 in 上田(国分寺資料館)
- 21日(木) 考古資料保存講習会(伊那市創造館)
- 23日(土) 特設考古学講座①、古文書フォローアップ講座(上・中級)
- 24日(日) 古文書フォローアップ講座(初級・ティーンズ)
- 29日(木) 長野県史料保存活用連絡協議会講習会②
- 30日(土) 秋季企画展ミニトーク・こども体験講座
- 11月3日(水) 開館記念日入館料無料対応
- 5日(金) 須坂市との連携協定調印式(須坂市役所)
- 6日(土) 秋季企画展ミニトーク・講座
- 11日(木) 信州知の連携フォーラム(当館)
- 12日(金) 長野県文化財保護研修会(県教委主催)
- 13日(土) 秋季企画展講演会(9/26から延期)
- 20日(土) 考古学講座④
- 21日(日) 「須坂市民の日」(須坂市民無料対応)、お出かけ歴史館 in 下諏訪
- 23日(火) 秋季企画展「全盛期の縄文土器」終了
- 27日(土) 企業協賛「KOAの日」(入館料無料)、信州学出前講座 in 安曇野(豊科郷土博物館)
- 28日(日) 縄文風クリスマスリースを作ろう
- 21日(土) 信州学講座 in 箕輪、南信州民俗芸能活性化イベント in 長野
- 29日(月) 長野県議会自由民主党県議団視察
- 12月4日(土) 近世史セミナー、特設考古学講座②
- 9日(木) 考古資料保存講習会②(佐久市文化財事務所)
- 11日(土) 考古学講座⑤
- 15日(水) 長野県議会改革・創造みらい県議団視察
- 1月14日(金) 冬季企画展「郷愁の画家 丸山晩霞」オープニングセレモニー
- 15日(土) 冬季企画展「郷愁の画家 丸山晩霞」開始
- 同時開催「信州の木造校舎 写真展」、「小野のシダレクリ自生地パネル展」
- 千曲市の感染警戒レベル5引上げに伴い、閲覧室閉鎖・閲覧業務停止
- 18日(火) お出かけ歴史館 in 赤穂(感染症拡大防止のため中止)
- 22日(土) 信州学講座④(感染症拡大防止のため中止)
- 28日(金) 長野県史料保存活用連絡協議会講習会③(対面開催中止、webにて開催)
- 長野県「まん延防止等重点措置」地域となり、団体解説中止・人数制限強化など対応
- 29日(土) 冬季企画展講演会・特設考古学講座③(ともに感染症拡大防止のため中止)
- 2月5日(土) 冬季企画展関連講座(感染症拡大防止のため中止)
- 8日(火) 信州大学博物館史料論オンライン講座
- 12日(土) 信州学講座⑤(感染症拡大防止のため中止)
- 17日(木) 博物館関係職員研修会(感染症拡大防止のため中止)
- 27日(日) 冬季企画展「郷愁の画家 丸山晩霞」終了
- 27日(日) 古文書愛好会総会・講演会(感染症拡大防止のため中止・書面開催)
- 3月5日(土) 信州学講座⑥(感染症拡大防止のため中止)
- 6日(日) 長野県「まん延防止等重点措置」地域終了となり、団体解説・人数制限など緩和したが警戒レベル5継続のため、閲覧室閉鎖・閲覧業務停止は継続。
- 18日(金) 所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ -考古資料編-」オープニングセレモニー
- 19日(土) 所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ -考古資料編-」開始
- 同時開催「ほるしん2022 長野県埋蔵文化財センター速報展」

長野県立歴史館年報 第24号
2021年度（令和3年度）

2022(令和4)年 5月30日発行

編集・発行 長野県立歴史館

〒387-0007 千曲市屋代260-6

TEL 026-274-2000（代表）

FAX 026-274-3996
